

③

平成31年度 重点事業の概要



平成31年2月18日



静岡市

目 次

1 平成31年度 当初予算(案)の特徴	1
2 5大構想	3
(1) 歴史文化の拠点づくり【静岡都心】	4
(2) 海洋文化の拠点づくり【清水都心】	6
(3) 教育文化の拠点づくり【草薙・東静岡副都心】	8
(4) 「健康長寿のまち」の推進	10
(5) 「まちは劇場」の推進	12
3 人口活力の維持対策	15
4 アセットマネジメント	21
5 3次総重点プロジェクト	25
(1) 歴史都市	26
①400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備等)	28
②東海道歴史街道(二峠六宿)の推進	40
③三保松原の保全と活用	44
(2) 文化都市	50
①草薙・東静岡副都心の賑わい創出	52
②清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進	58
③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興	70
(3) 中枢都市	88
①首都圏等からの移住・定住の促進	90
②MICEの推進等による交流人口の拡大	102
③戦略産業への支援・育成	112
(4) 健康都市	130
①健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築 (「自宅ですっと」プロジェクト)	132
②静岡型子ども・子育て支援の推進	148
③健康都市の実現に向けた基盤整備	168
(5) 防災都市	172
①災害対応力の強化と危機管理体制の確立	174
②浸水・土砂災害対策の拡充等	190
③再生可能エネルギーの導入・普及促進	194
(6) 共生都市	198
①多様な人々による共生	200
②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生	204
③まちづくりは人づくり・シチズンシップ	212

平成31年度当初予算(案) 3次総重点プロジェクトの主な事業 目次

1 歴史都市

① 400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備等)

1	第78期将棋名人戦第0局開催事業	29
2	歴史文化施設建設事業	30
3	静岡市民文化会館再整備方針検討事業	31
4	駿府城公園お堀の水辺活用事業	32
5	駿府城跡天守台発掘調査・見える化事業	33
6	追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業	34
7	東御門橋(駿府城公園)架替え事業	35
8	旧青葉小学校跡地利活用推進事業	36
9	今川義元公生誕五百年祭推進事業	37
10	歴史文化施設プレ事業	38

② 東海道歴史街道(二峠六宿)の推進

1	東海道歴史街道おもてなし環境整備事業	41
2	東海道歴史街道観光誘客促進事業	42

③ 三保松原の保全と活用

1	三保松原文化創造センター管理運営事業 (仮称)三保松原保全研究機構運営費助成	45
2	三保松原保全活用事業	46
3	都市計画道路整備事業 清水港三保線	47
4	羽衣海岸線道路改良事業	48

2 文化都市

① 草薙・東静岡副都心の賑わい創出

1	東静岡アート&スポーツ/ヒロバ運営事業	53
2	草薙・東静岡副都心グランドデザイン策定事業	54
3	草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業	55
4	JR草薙駅北口周辺交通環境改善事業	56
5	日本平動物園開園50周年記念事業	57

② 清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進

1	海洋文化施設整備推進事業	59
2	清水港開港120周年記念事業	60
3	清水都心地区回遊性向上検討事業	61
4	駿河湾フェリー運航支援事業	62
5	マグロの都 清水 推進事業	63
6	清水港客船誘致事業	64
7	外国人観光客誘致促進事業(インバウンド対策)	65
8	新清水庁舎建設事業	66
9	使い捨てプラスチックからの転換推進事業	67

10	清水港海づり公園整備事業	68
11	清水港港湾整備事業費負担金	69

③ 「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

1	「まちは劇場」推進事業	72
2	夜の舞台演出事業	73
3	賑わい創出イベント	74
4	市民参加型舞台公演事業	76
5	CCC(文化・クリエイティブ産業振興センター)管理運営事業	77
6	まち劇スポット運営事業	78
7	静岡市都市公園Park-PFI制度活用事業	79
8	まちは劇場コンサート事業	80
9	地域おこし協力隊配置事業	81
10	オクシズ「漆-japan-の里」構想事業	82
11	オクシズの森林整備事業、静岡地域材活用促進事業	83
12	オクシズATM設置費助成	84
13	オクシズプロモーション事業	85
14	しずまえ鮮魚普及事業	86
15	「お茶のまち静岡市」推進事業	87

3 中枢都市

① 首都圏からの移住・定住の促進

1	テレワーカー移住促進事業	91
2	移住体験ツアー運営事業	92
3	高校生、短大生、大学生等に対する奨学金貸付事業	93
4	中山間地移住促進事業	94
5	プレミアムフライデー推進事業	95
6	交流人口の増加策(しずおか中部連携中枢都市圏事業)	96
7	働き方改革推進事業	98
8	空き家情報バンク登録・活用事業	99
9	地元就職・UIターン就職の促進	100

② MICEの推進等による交流人口の拡大

1	日本平公園整備事業	103
2	ラグビーワールドカップ合宿等誘致事業	104
3	地域連携DMO推進事業	105
4	清水エスパルス応援機運醸成事業	106
5	野球を活かしたまちづくり推進事業	107
6	中心市街地活性化推進事業	108
7	清水七夕まつり補助金	109
8	SDGs推進事業	110

③ 戦略産業への支援・育成

1	海洋産業クラスター創造事業	114
---	---------------	-----

2	清水港後背地における地域経済の活性化検討事業	115
3	中小企業の課題解決による成長の促進	116
4	「地域経済牽引事業」承認事業の首都圏プロモーション支援事業 首都圏シティプロモーション推進事業	117
5	働き方改革の実現に向けた環境整備	118
6	企業立地用地開発推進事業	119
7	企業立地促進事業費助成	120
8	大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業	121
9	道路ネットワークの整備	122
10	アンテナショップ開設事業	124
11	道の駅整備事業	125
12	県営土地改良事業負担金(県単独農業農村事業調査)	126
13	農道等新設改良事業(畑総事業創設非農用地可能性調査・小規模農業基盤整備検討調査)	127
14	静岡市がんばる新農業人支援事業	128

4 健康都市

① 健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築

1	「自宅ですっと」在宅医療・介護連携推進事業	134
2	地域包括支援センター運営事業	135
3	生活支援体制整備事業	136
4	高齢者就労促進事業 企業OB等の活用による中小企業支援	137
5	生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業	138
6	市民参加型フレイル予防プロジェクト	139
7	「健康寿命世界一」市民チャレンジ事業(しぞ〜かでん伝体操)	140
8	元気いきいき！シニアサポーター事業	141
9	認知症予防のための体制整備事業	142
10	徘徊認知症高齢者の搜索模擬訓練事業	143
11	歯科保健推進事業	144
12	成年後見制度利用促進事業	145
13	妊娠を希望する女性等に対する風しん予防接種費助成	146

② 静岡型子ども・子育て支援の推進

1	しずおかエンジェルプロジェクト推進事業	150
2	結婚新生活支援補助金	151
3	産婦健康診査事業	152
4	産後ケア事業／ママケアデイサービス事業	153
5	清水看護専門学校助産学科の開設	154
6	幼児期の教育・保育の施設整備	155
7	発達早期支援事業	156
8	日本一おいしい学校給食の提供事業	157
9	放課後児童クラブの整備・運営	158
10	小中学校校舎大規模改修・小中学校校舎トイレリフレッシュ事業	159
11	小中学校校舎エアコン設置事業	160

12	学校図書館の充実	161
13	英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト(グローバル人材の育成)	162
14	総合的な不登校対策推進事業	163
15	子どもの貧困対策の推進	164
16	里親支援事業	165
17	子ども医療費の助成	166

③ 健康都市の実現に向けた基盤整備

1	自転車利用計画推進事業	169
2	交通安全施設整備事業(自転車走行空間ネットワーク整備事業)	170
3	(都)北街道線魅力空間創出事業	171

5 防災都市

① 災害対応力の強化と危機管理体制の確立

1	津波避難施設整備事業	176
2	由比漁港津波避難施設整備事業	177
3	要緊急安全確認大規模建築物耐震事業費助成	178
4	建物の耐震化事業費助成	179
5	ブロック塀等耐震改修事業費助成	180
6	橋りょう整備事業(道路橋の耐震化及び老朽化対策)	181
7	河川構造物耐震・津波対策事業	182
8	消防団員確保対策事業	183
9	消防団施設整備事業	184
10	防災マップ・洪水ハザードマップ作成事業	185
11	緊急情報防災ラジオ普及促進事業	186
12	防災情報共有システム整備事業	187
13	狭あい道路拡幅整備事業	188
14	道路自然災害防除事業(道路トンネル補修及び法面对策事業)	189

② 浸水・土砂災害対策の拡充等

1	浸水対策推進プラン	191
2	急傾斜地崩壊対策事業	192
3	土砂災害等防止対策事業(公園)	193

③ 再生可能エネルギーの導入普及促進

1	地球温暖化対策普及啓発事業	195
2	静岡型水素タウン促進事業	196
3	静岡型水素タウン促進事業費助成	197

6 共生都市

① 多様な人々による共生

1	しずおか女子きらっ☆プロジェクト	201
2	LGBTフレンドリー推進事業	202
3	地域交通弱者対策事業費助成	203

② 南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生

1	南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画推進事業	205
2	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家活用事業	206
3	井川湖渡船 船舶及び待合所更改事業	207
4	南アルプスユネスコエコパークを活かす道路の整備	208
5	南アルプス登山道整備事業	209
6	麻機遊水地関連事業	210
7	放任竹林対策事業	211

③ まちづくりは人づくり・シチズンシップ

1	高等教育のあり方検討推進事業	213
2	「静岡シチズンカレッジこ・こ・に」推進事業	214
3	「市民活動支援システム」活用推進事業	215
4	生涯学習施設建設等事業	216
5	地域の自主防犯力強化事業	217

平成31年度 当初予算(案)の特徴

第3次静岡市総合計画

8年間：H27～H34
(2015～2022)

まちづくりの目標

「世界に輝く静岡」の実現

5大構想

世界水準の都市「静岡市」を目指して

その都市に暮らす人々が「安心感」をもって生活を営むことができ、その都市を訪れる人々が「満足感」をもってひとときを過ごすことができる都市。この「安心感」と「満足感」を兼ね備えた世界水準の静岡市づくりに取り組みます。その原動力とするために強く打ち出したのが「5大構想」です。

【世界に存在感を示す3つの都心づくり】（3つの施策群）

静岡都心における「歴史文化の拠点づくり」、清水都心における「海洋文化の拠点づくり」、草薙・東静岡副都心における「教育文化の拠点づくり」など、拠点整備を念頭に置いた都市デザインに基づくまちづくりを進め、世界に存在感を示す3つの都心づくりを行う。

【生活の質を高める2つの仕組づくり】（2つの施策群）

住み慣れた地域で長く、自分らしく暮らすことができる「健康長寿のまち」の推進と、文化・クリエイティブ活動への支援などを通じて、わくわく、ドキドキの笑顔あふれるまちにする「まちは劇場」の推進を行う。

世界に存在感を示す3つの都心づくり

生活の質を高める2つの仕組づくり

歴史文化の
拠点づくり

海洋文化の
拠点づくり

教育文化の
拠点づくり

「健康長寿のまち」
の推進

「まちは劇場」
の推進



世界を意識した都市ビジョンを
市民にわかりやすく示す

重点プロジェクト（18政策）

「創造する力」による都市の発展（産業・経済の振興）

「つながる力」による暮らしの充実（安心・安全の確保）

歴史都市

- ① 400+プロジェクトの推進（駿府城公園エリアの整備等）
- ② 「東海道歴史街道」（二峠六宿）の推進
- ③ 三保松原の保全と活用

文化都市

- ① 東静岡・草薙地区の賑わい創出
- ② 清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進
- ③ 「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

中枢都市

- ① 首都圏等からの移住・定住の促進
- ② MICEの推進等による交流人口の拡大
- ③ 戦略産業への支援・育成

健康都市

- ① 健康長寿のための静岡型地域包括ケアシステムの構築
- ② 静岡型子ども・子育て支援の推進
- ③ 健康都市の実現に向けた基盤整備

防災都市

- ① 災害対応力の強化と危機管理体制の確立
- ② 浸水・土砂災害の拡充
- ③ 再生可能エネルギーの導入・普及促進

共生都市

- ① 多様な人々による共生
- ② 南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生
- ③ まちづくりは人づくり・シチズンシップ

人口活力の維持対策
⇒ 交流人口の増加、定住人口の維持

アセットマネジメント
⇒ 公共資産の効果的・効率的な運営

5 大 構 想

5 大 構 想

1 歴史文化の拠点づくり【静岡都心】

【目標】

徳川家康公が晩年暮らした駿府城公園周辺の魅力を高める取組を通じて、来街者の増加による地域経済の活性化を図るとともに、大御所が愛した「平和都市・静岡」を世界に向けてアピールする。

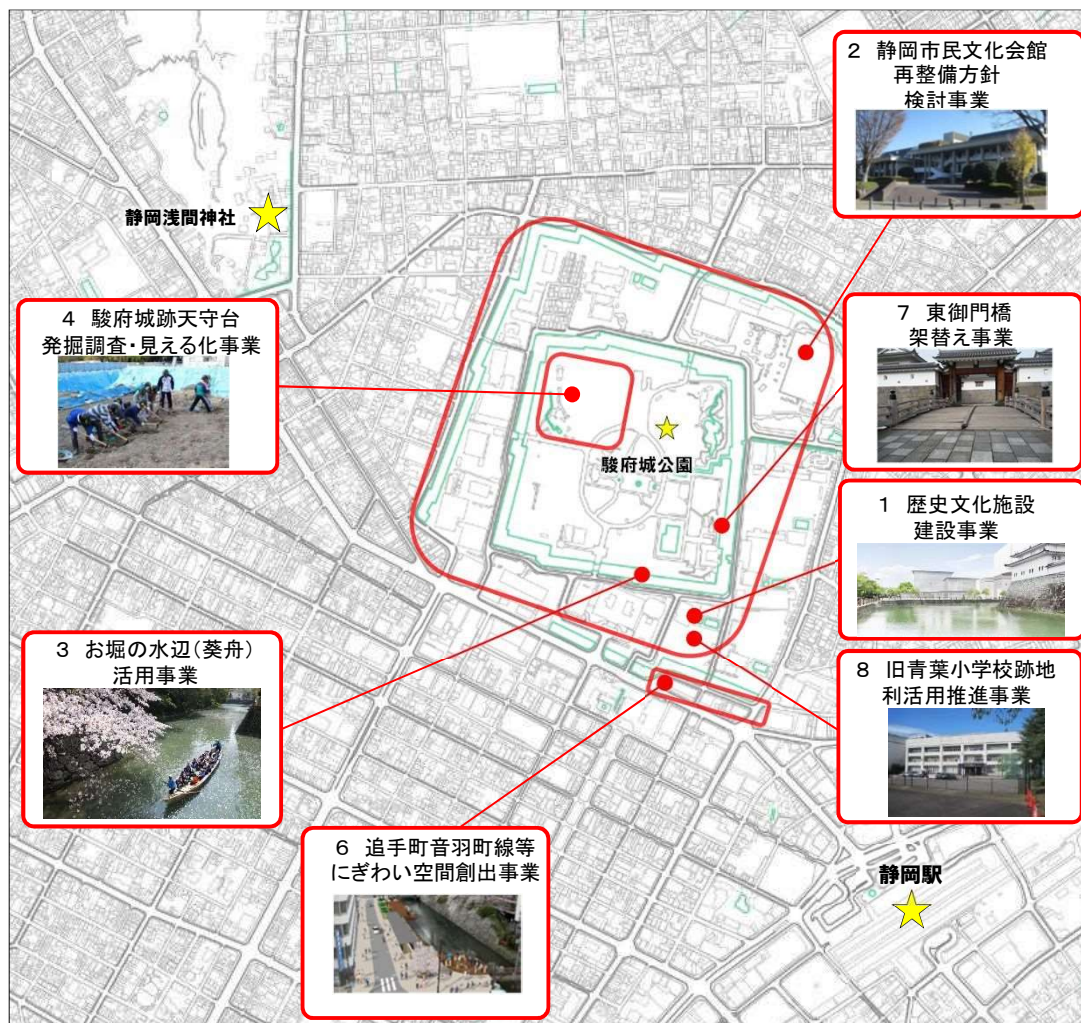
【方針】

①歴史文化の伝承と新たな魅力の創出による風格ある街並みの形成

駿府城公園や浅間神社などの**歴史的資源**をみがきあげ、歴史を感じる空間を創ることにより、駿府城公園周辺エリアのブランド力を高め、静岡都心への**集客力**を高める。

②駿府城公園周辺における賑わいと潤いのある新たな公共空間の創造

駿府城公園などの**歴史的施設**で、公共空間を活用した、地域資産の魅力を向上させる取組を行うことにより、市民の静岡都心への誇りと愛着を高め、「**まちなかライフ**」の楽しさを演出する。



1 歴史文化の拠点づくり【静岡都心】

平成31年度 主要事業

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	資料③ ページ	資料② ページ
1	観光交流文化局	歴史文化課	継続	歴史文化施設建設事業	ハード	1,463,800	30	62
2	観光交流文化局	文化振興課	新規	静岡市民文化会館再整備方針検討事業	ハード	20,032	31	67
3	観光交流文化局 都市局	観光・国際交流課 緑地政策課	拡充	駿府城公園お堀の水辺活用事業	ハード ソフト	37,700	32	59 106
4	観光交流文化局 都市局	歴史文化課 公園整備課	拡充	駿府城跡天守台発掘調査・見える化事業	ハード ソフト	119,384	33	62 107
5	観光交流文化局	観光・国際交流課	新規	今川義元公生誕五百年祭推進事業	ソフト	66,000	37	60
6	都市局 建設局	市街地整備課 道路計画課	継続	追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業	ハード	179,700	34	105 113
7	都市局	公園整備課	継続	東御門橋(駿府城公園)架替え事業	ハード	8,000	35	107
8	企画局	アセットマネジメント 推進課	拡充	旧青葉小学校跡地利活用推進事業	ソフト	10,524	36	49
9	観光交流文化局	文化財課	拡充	駿府九十六ヶ町町名碑設置事業(歴史案内看板設置事業)	ソフト	2,970	—	62
10	観光交流文化局	観光・国際交流課	継続	東海道歴史街道まち歩き推進事業	ソフト	16,928	41 42	59
計						1,925,038		



歴史文化施設建設事業



駿府城跡天守台発掘調査・見える化事業

5 大 構 想

2 海洋文化の拠点づくり【清水都心】

【目標】

清水港周辺に集積する行政、民間企業、教育機関などと連携し、海洋関連産業の振興を推進することで、交流人口の増加と地域経済の活性化を図り、地球全体の海を取り巻く環境の保全や、海洋人材の育成にも取り組むことで、国内外から人々が訪れる「国際海洋文化都市」の実現を目指す。

【方針】

①産学民官の連携による「海洋文化拠点」の形成

大学等の研究機関や周辺企業等との連携を深め、新たな海洋産業の振興や海洋人材の育成を図るとともに、海洋・地球に関する総合的な展示施設である「海洋文化施設」を整備し、この施設が国際海洋文化都市のシンボル施設となることを目指す。

②「働くみなと」に「楽しむみなと」を加えた求心力の強い港町の創生

清水都心ウォーターフロント地区において、民間活力を引き出すような観光の基盤整備や、わくわくドキドキを肌で感じるような多彩な賑わいづくりの施策を進めるとともに、地震や津波に備えた災害対策を推進する。

3 清水港海づり公園整備事業



1 海洋文化施設建設事業



9 国際クルーズ船等の誘致
(清水港客船誘致事業)



2 新清水庁舎建設事業



桜ヶ丘病院の移転構想
(イメージ)



7 清水港ウォーターフロント活性化
推進事業(水と光のプロムナード)



2 海洋文化の拠点づくり【清水都心】

平成31年度 主要事業

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	資料③ ページ	資料② ページ
1	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	海洋文化施設建設事業	ハード	1,413,930	59	89
2	企画局	アセットマネジメント 推進課	拡充	新清水庁舎建設事業	ハード	20,230	66	49
3	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	清水港海づり公園整備事業	ハード	402,000	68	90
4	経済局	海洋文化都市 推進本部	拡充	清水港開港120周年記念事業	ソフト	45,000	60	89
5	観光交流文化局	観光・国際交流課	拡充	駿河湾フェリー運航支援事業	ソフト	25,800	62	59
6	環境局	ごみ減量推進課	新規	使い捨てプラスチックからの転換事業	ソフト	5,420	67	70
7	経済局	海洋文化都市推進本部	継続	清水都心ウォーターフロント活性化推進事 業(水と光のプロムナード・灯り道)	ソフト	28,000	73	89
8	経済局	海洋文化都市 推進本部	新規	清水都心地区回遊性向上検討事業 (次世代モビリティ活用検討事業)	ソフト	6,000	61	89
9	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	清水港客船誘致事業	ソフト	56,385	64	90
10	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	海洋産業クラスター創造事業	ソフト	18,300	114	89
計						2,021,065		



海洋文化施設建設事業



清水港開港120周年記念事業

3 教育文化の拠点づくり【草薙・東静岡副都心】

【目標】

JR東静岡・草薙駅周辺地区に、すべての人が質の高い教育を受けることのできる機会を創出し、地域経済の活性化を図るとともに、多くの若者が集まり、交流が生まれるまちを目指す。

【方針】

①教育文化の薫りが漂う都市空間の創造

文化スポーツの殿堂の整備を目指す東静岡地区と、大学や図書館、美術館などが集積し、文教エリアとしての特性を有する草薙地区に、教育文化の新たな価値を創造し、地域経済の活性化を果たす。

②高等教育を始めとした学習機会の提供とシチズンシップに富んだ人材の養成

多様な高等教育を始め、生涯にわたって学習できる機会を充実させるとともに、積極的にまちづくりに関わって地域に貢献しようとする公共意識の高い人材の養成や、市民参画を促す施策を進める。



3 教育文化の拠点づくり【草薙・東静岡副都心】

平成31年度 主要事業

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	資料③ ページ	資料② ページ
1	企画局	企画課	新規	草薙・東静岡副都心グランドデザイン策定事業	ソフト	4,948	54	49
2	市民局 ほか関係局	生涯学習推進課ほか関係課	拡充	「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業	ソフト	19,931	214	52
3	建設局	道路計画課	継続	JR草薙駅北口周辺交通環境改善事業	ソフト	7,000	56	113
4	企画局	企画課	継続	「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」運営事業	ソフト	56,340	53	49
5	企画局	企画課	継続	高等教育のあり方検討推進事業	ソフト	5,939	213	49
6	都市局	清水駅周辺整備課	継続	草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業	ソフト	6,400	55	106
7	教育局	教育総務課	継続	「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」 “学校・地域 ひとつなぎ”人材養成事業 ※予算額は「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」 推進事業の内数	ソフト	1,665	214	119
8	市民局	市民自治推進課	継続	「市民活動支援システム」活用推進事業	ソフト	2,865	215	52
9	観光交流文化局	文化財課	拡充	「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」 文化財サポーター育成 ※予算額は「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」 推進事業の内数	ソフト	434	214	62
10	経済局	農業政策課	継続	「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」 静岡市お茶の学校 ※予算額は「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」 推進事業の内数	ソフト	528	214	52
計						106,050		



東静岡アート&スポーツ/ヒロバ
運営事業

地域デザインカレッジ2019 (調査・実践編)



「みんなの力で創る、静岡。」

「静岡シチズンカレッジ
こ・こ・に」推進事業

4 「健康長寿のまち」の推進

【目標】

人生100年時代を見据え、あらゆる年齢の人が住み慣れた地域で、いつまでも健康で人生を楽しむことができ、住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができるまちを実現する。

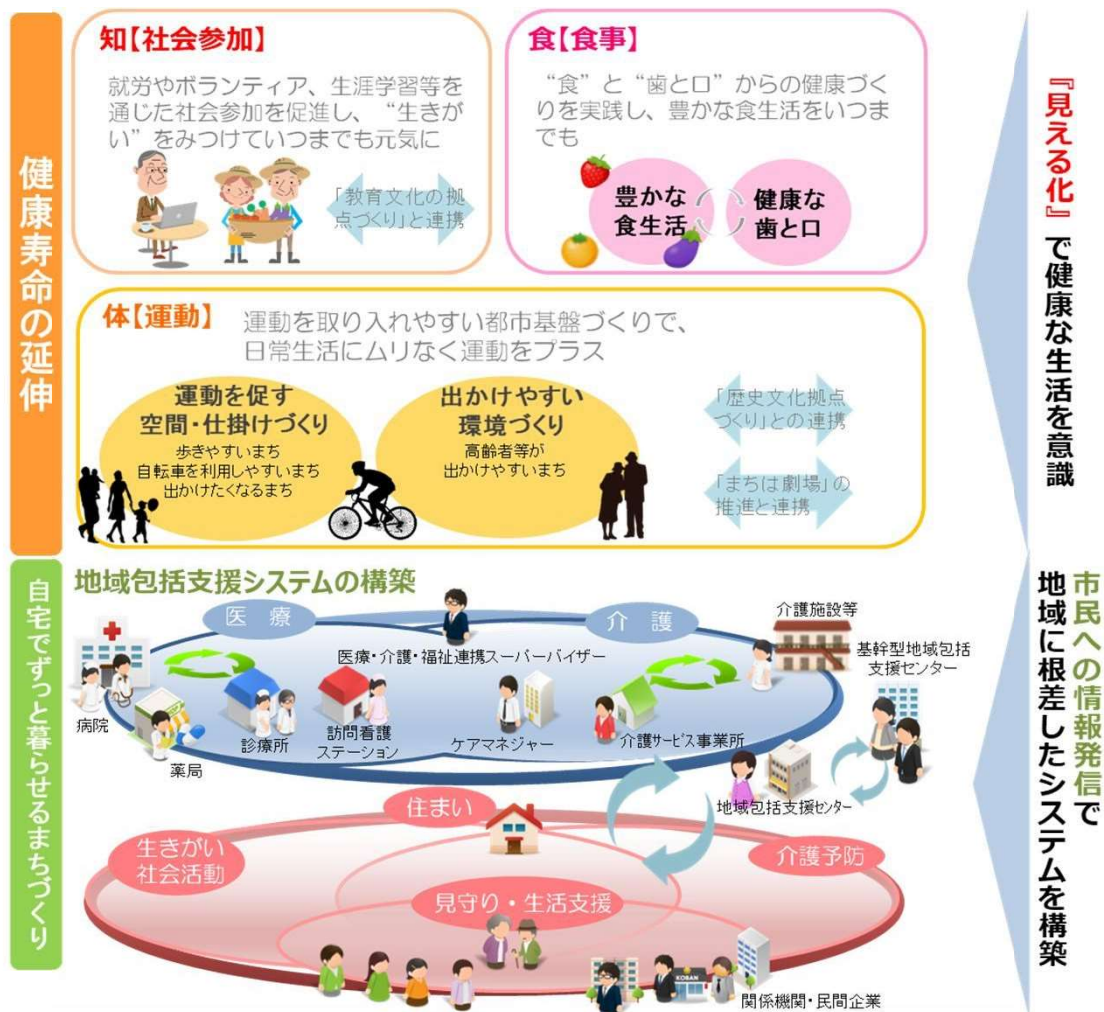
【方針】

①健康寿命75歳への延伸

徳川家康公の**健康長寿**の秘訣と言われる“知への好奇心（社会参加）”、“食事”、“運動”を柱として、市民一人ひとりが、これらを日常的に取り入れやすい都市環境づくりと市民の**自発的**な健康づくりの支援を推進する。

②自宅ですっと暮らせるまちづくり

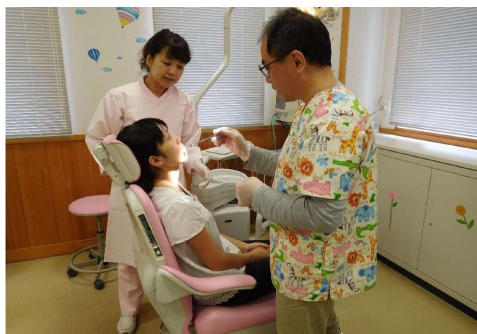
自宅ですっと暮らせるまちの実現に向け、医療・介護等の専門職や地域の市民の連携により、切れ目のない医療・介護や介護予防、生活支援といった**支援の体制**を構築するとともに、市民に積極的に情報発信することで、地域に根差した**静岡型地域包括ケアシステム**の構築を目指す。



4 「健康長寿のまち」の推進

平成31年度 主要事業

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	資料③ ページ	資料② ページ
1	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	新規	認知症予防のための体制整備事業	ソフト	10,000	142	144
2	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	拡充	歯科保健推進事業	ソフト	7,546	144	73
3	保健福祉長寿局 経済局	福祉総務課 (高齢者福祉課) 産業振興課 商業労政課	拡充	高齢者就労促進事業 企業OB等の活用による中小企業支援	ソフト	43,910	137	72 93 95
4	教育局	学校給食課	拡充	日本一おいしい学校給食の提供事業	ソフト	91,566	157	124
5	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	市民参加型フレイル予防プロジェクト	ソフト	1,980	139	144
6	保健福祉長寿局	福祉総務課	継続	生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業	ソフト	18,809	138	72
7	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	地域包括支援センター運営事業	ソフト	902,976	135	144
8	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	「自宅でずっと」在宅医療・介護連携推進事業	ソフト	4,110	134	144
9	保健福祉長寿局	地域リハビリテーション推 進センター	拡充	「健康寿命世界一」市民チャレンジ事業 (しぞ〜かでん伝体操)	ソフト	6,454	140	144
10	市民局、子ども 未来局、都市局、 教育局	生活安心安全課、こども 園課、交通政策課、児童 生徒支援課	継続	自転車利用計画推進事業	ソフト	14,110	169	54,86 104 123
計						1,101,461		



歯科保健推進事業



日本一おいしい学校給食の提供事業

5 「まちは劇場」の推進

【目標】

地域に根付いた大道芸や演劇・音楽などの文化・クリエイティブ活動を活かし、おまちに出かければいつも何かが起こる、「わくわくドキドキ」する、そんなまちづくりを進めることで地域経済の活性化を図るとともに、ここに暮らす誇りと喜びを感じることでできるまちに成熟させる。

【方針】

①わくわくドキドキの仕掛けづくりと人材育成

市民がまちなかに来るたびに、わくわくドキドキを感じられる「非日常空間」づくりと、担い手となる人材育成を併せて行うことにより、**市民主体の創造的活動を活発化**し、本市の魅力が向上することで、「市外からの来街者の増加」と「地域経済の活性化」に繋げる。

②公共空間の積極的な活用による「舞台」の創出と戦略的な情報発信

公共的都市空間における文化・クリエイティブ活動の「舞台」を創出することで、大道芸に代表される世界レベルのパフォーマンスに身近に触れる機会を増やすとともに、「**戦略的な情報発信**」を行うことで、訪れる人々やパフォーマーにとって憧れの地となるような地域資産の魅力向上を図る。



5 「まちは劇場」の推進

平成31年度 主要事業

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	資料③ ページ	資料② ページ
1	観光交流文化局	まちは劇場推進課	新規	「まちは劇場」推進事業 ・ブランディング事業 ・評価システム構築事業 ・国際交流事業 ・「まちは劇場」推進のための体制整備	ソフト	44,460	72	64
2	観光交流文化局 経済局	まちは劇場推進課 海洋文化都市推進本部	拡充	夜の舞台演出事業 (日本平、駿府城公園、巴川周辺)	ソフト	51,400	73	61 64 89
3	観光交流文化局	まちは劇場推進課 スポーツ交流課	拡充	賑わい創出イベント ・ストレンジシード ・ふじのくにせかい演劇祭 ・シズオカ・サンバカーニバル ・シズオカ・カンヌウィーク ・しずおかフェア ・大道芸ワールドカップ ・東静岡アートプロジェクト ・富士山コスプレ世界大会 ・サッカー祭り	ソフト	219,600	74 75	64,65 66,67
4	経済局 都市局	商業労政課 都市計画課	継続	(都)北街道線魅力空間創出事業	ソフト	5,100	171	95 104
5	観光交流文化局	まちは劇場推進課	拡充	市民参加型舞台公演事業	ソフト	14,000	76	64
6	経済局	産業政策課	拡充	静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター運営事業	ソフト	85,030	77	91
7	観光交流文化局	まちは劇場推進課	拡充	まち劇スポット運営事業	ソフト	3,100	78	65
8	都市局	緑地政策課	継続	静岡市都市公園Park-PFI制度活用事業	ソフト	5,000	79	106
9	観光交流文化局	まちは劇場推進課	継続	まちは劇場コンサート事業	ソフト	34,700	80	65
10	経済局	商業労政課	継続	プレミアムフライデー推進事業	ソフト	19,400	95	95
計						481,790		



ストレンジ・シード



大道芸ワールドカップ



夜の舞台演出事業

人口活力の維持対策

人口活力の維持対策

しずおか中部連携中枢都市圏の持続的発展を目指し、**交流人口の増加策**から**定住人口の維持策**まで、本市独自の取組に加え、市域を超えて複合的・重層的に取り組むことにより、人口活力の維持を通じた地域経済の活性化を図る。

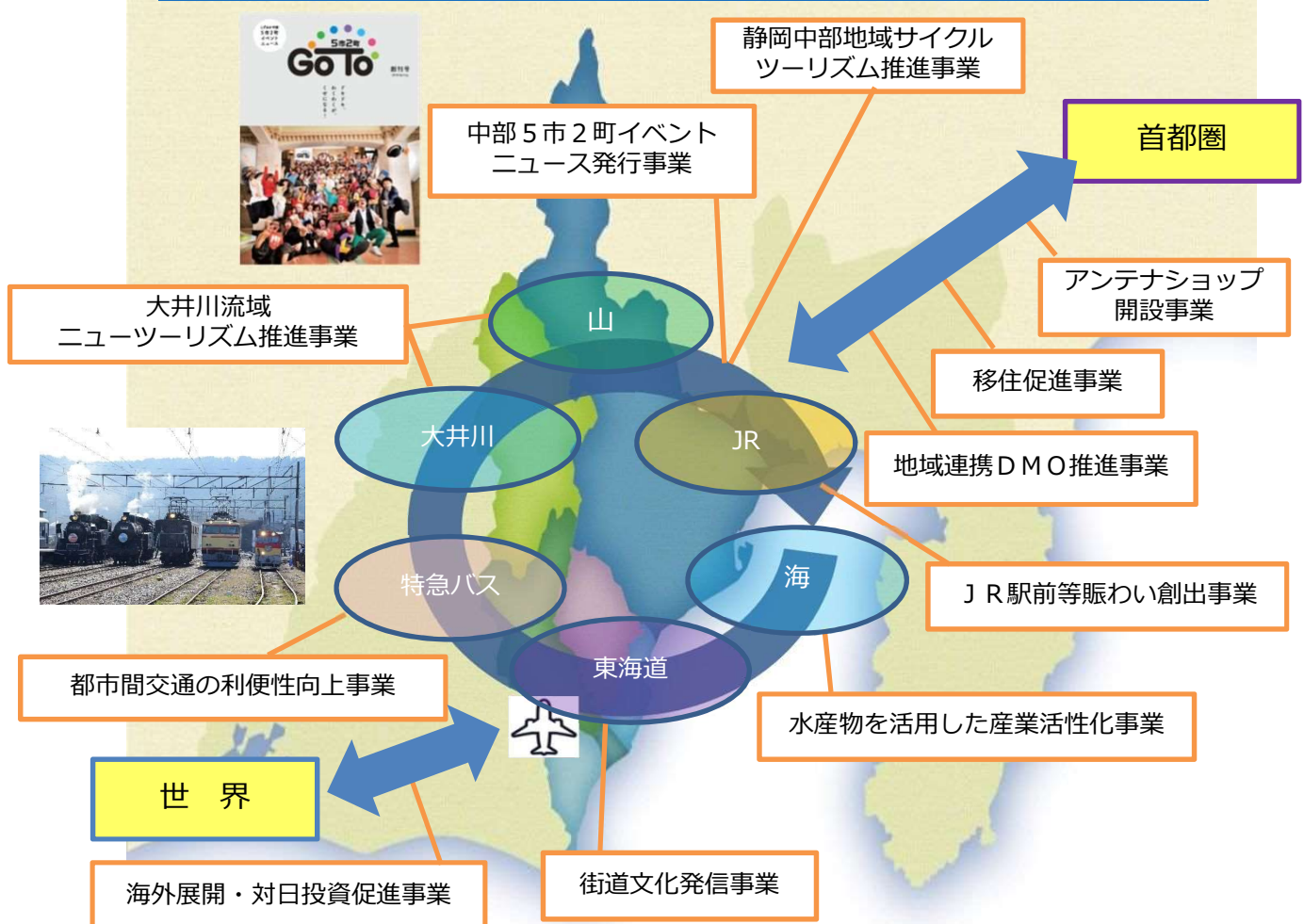
交流人口の増加策

静岡県中部地域に位置する5市2町（静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町）が、それぞれが持つ魅力ある地域資源を最大限、有効に活用して、各市町が主役となったポリセントリック（※）な連携を図り、「しずおか中部連携中枢都市圏」の取組を推進し、圏域の一体的な発展を目指す。（※「Poly=多くの」と「Centric=中心」を合わせたもの）

圏域の目指す将来像である『海・山・街道を活かした多極連携・交流都市圏』の実現に向けて、平成31年度は『圏域内のさらなる交流の促進』をテーマに、活発な交流の促進を図っていく。

しずおか中部連携中枢都市圏が目指す将来像

海・山・街道を活かした 多極連携・交流都市圏



定住人口の維持策

静岡市総合戦略に基づき、短期的に効果のある移住施策や産業振興・雇用施策などに取り組むとともに、女性の活躍や子育て支援など、働きやすく暮らしやすい都市の魅力を高める中長期的施策にも合わせて取り組み、定住人口の維持を目指す。

テレワーカー移住の促進及び首都圏のプロモーション

- 移住の最大の課題は「仕事」であるため「**仕事を変えずに、住まいは静岡**」を掲げ、テレワーカー移住の促進に取り組む。
- 移住関連の各種ランキングにもみられるように、**住みやすい街、子育てしやすい街**としての高い評価を受けており、移住相談件数や移住者数も増加の傾向にあるため、引き続き更なるプロモーションに取り組む。
- 転出超過の若年層に対しては、**地元就職**に向けた首都圏等大学との関係構築に加え、高校生以下の**地元志向**醸成を図る。



テレワーカー移住促進事業

結婚から子育てまで切れ目のない支援及び働き方改革の推進

- 出生率の上昇と初婚年齢の低下には相関関係があるため、**結婚支援**の充実や**子育てしやすい環境づくり**に取り組む。
- 本市における働き方改革を進めるため、まず**本市職員自らが率先**して取り組むとともに、官民連携による取り組みを**粘り強く継続的に**実施する。



放課後児童クラブの整備・運営

住みやすい街、子育てしやすい街としての評価が向上

■静岡市移住支援センター相談件数

2,091件2,597人 2,000人超!
(H27.4~H30.12末)

■センター経由の移住者数

54世帯105人 → 87世帯178人
(H27.4~H29.12末) (H27.4~H30.12末)
33世帯73人増!

■住みたい田舎ランキング（大きなまち部門）

東海エリア 総合1位 (H29) → 総合1位 (H30)
全 国 総合6位 (H29) → 総合3位 (H30) **ランクアップ!**

※田舎暮らしの本

■エンジェルプロジェクト 出会いのイベント

参加者数 2,648人 カップル率 29.1%
成婚数 15組 (婚約含む) **カップル率3割弱!**

(H26.4~H30.12累計)

■共働き子育てしやすい街（全国編）

20位 (H29) → 10位 (H30) **ランクアップ!**

※日経DUAL（東京除く全国編）

平成31年度 交流人口の増加に係る主な事業

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	資料 ③ ページ	資料 ② ページ
1	経済局	産業政策課	継続	アンテナショップ開設事業	ソフト	259,500	124	91
2	企画局 経済局	企画課 産業政策課	継続	海外展開・対日投資促進事業	ソフト	14,349	96	49
3	経済局	水産漁港課	継続	水産物を活用した産業活性化 事業	ソフト	2,720	96	100
4	観光交流 文化局	観光・国際交流課	継続	地域連携DMO推進事業	ソフト	130,000	96 105	61
5	企画局	企画課	拡充	大井川流域ニューツーリズム 推進事業	ソフト	29,000	96	49
6	企画局	企画課	継続	街道文化発信事業	ソフト	13,100	96	49
7	企画局	企画課	拡充	静岡中部地域サイクル ツーリズム推進事業	ソフト	5,000	97	49
8	観光交流 文化局	文化振興課	継続	サイエンスキッズ育成事業	ソフト	3,000	97	—
9	企画局	企画課	継続	大学連携事業	ソフト	28,950	97	49
10	企画局 経済局	企画課 商業労政課 海洋文化都市 推進本部	継続	JR駅前等賑わい創出事業	ソフト	66,400	97	49
11	企画局	企画課	拡充	中部5市2町広域連携PR等 事業	ソフト	6,454	97	49
12	企画局	企画課	継続	都市間交通の利便性向上事業	ハード	8,000	97	49
13	企画局	企画課	継続	移住促進事業	ソフト	2,547	97	49
14	企画局	企画課	継続	テレワーク推進事業	ソフト	4,000	97	49
15	総務局	広報課	拡充	中部5市2町イベントニュース 発行事業	ソフト	39,000	97	45
計						612,020		



アンテナショップ開設事業
(写真：長野県アンテナショップ)



大井川流域ニューツーリズム
推進事業



移住促進事業

平成31年度 定住人口の維持に係る主な事業

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	資料 ③ ページ	資料 ② ページ
1	総務局	総務課・人事課・ ICT推進課	拡充	働き方改革推進事業	ハード ソフト	38,958	98	46
2	企画局	企画課	継続	移住支援センター運営事業	ソフト	18,372	—	49
3	企画局	企画課	継続	首都圏における移住相談会・セミナー 運営事業	ソフト	2,071	—	49
4	企画局	企画課	継続	移住体験ツアー運営事業	ソフト	3,784	92	49
5	企画局	企画課	継続	テレワーカー移住促進事業	ソフト	952	91	49
6	企画局	企画課	継続	新幹線通学費貸与事業	ソフト	67,450	—	49
7	子ども未来局	青少年育成課	拡充	しずおかエンジェルプロジェクト 推進事業	ソフト	2,868	150	84
8	子ども未来局	青少年育成課	継続	結婚新生活支援事業費助成	ソフト	10,000	151	84
9	子ども未来局	子ども家庭課	継続	産後ケア事業/ ママケアデイサービス事業	ソフト	22,042	153	87
10	経済局	商業労政課	継続	地元就職・UIターン就職の促進	ソフト	14,184	100	95
11	経済局	商業労政課	継続	働き方改革の実現に向けた環境整備	ソフト	7,500	118	95
12	経済局	商業労政課	継続	プレミアムフライデー推進事業	ソフト	19,400	95	95
13	経済局	中山間地振興課	継続	地域おこし協力隊配置事業	ソフト	34,222	81	103
14	経済局	中山間地振興課	継続	中山間地移住促進事業	ソフト	13,000	94	102
15	都市局	住宅政策課	継続	空き家情報バンク登録・活用事業	ソフト	5,800	99	111
16	教育局	児童生徒支援課	拡充	高校生、短大生、大学生に対する 奨学金貸付事業	ソフト	65,076	93	123
計						325,679		



移住体験ツアー運営事業



産後ケア事業/
ママケアデイサービス事業



働き方改革推進事業
(テレビ会議)

ア セ ッ ト
マ ネ ジ メ ン ト

アセットマネジメント

「健全で持続可能な都市経営の実現」を目指し、将来負担の軽減を図るため、本市が保有する公共施設^{※1}の統廃合を進め総資産量を適正化したり、計画的に効率よくメンテナンスを行って施設の寿命を延ばしたり、公共施設の整備や管理に民間活力を積極的に導入する、アセットマネジメントを推進します。

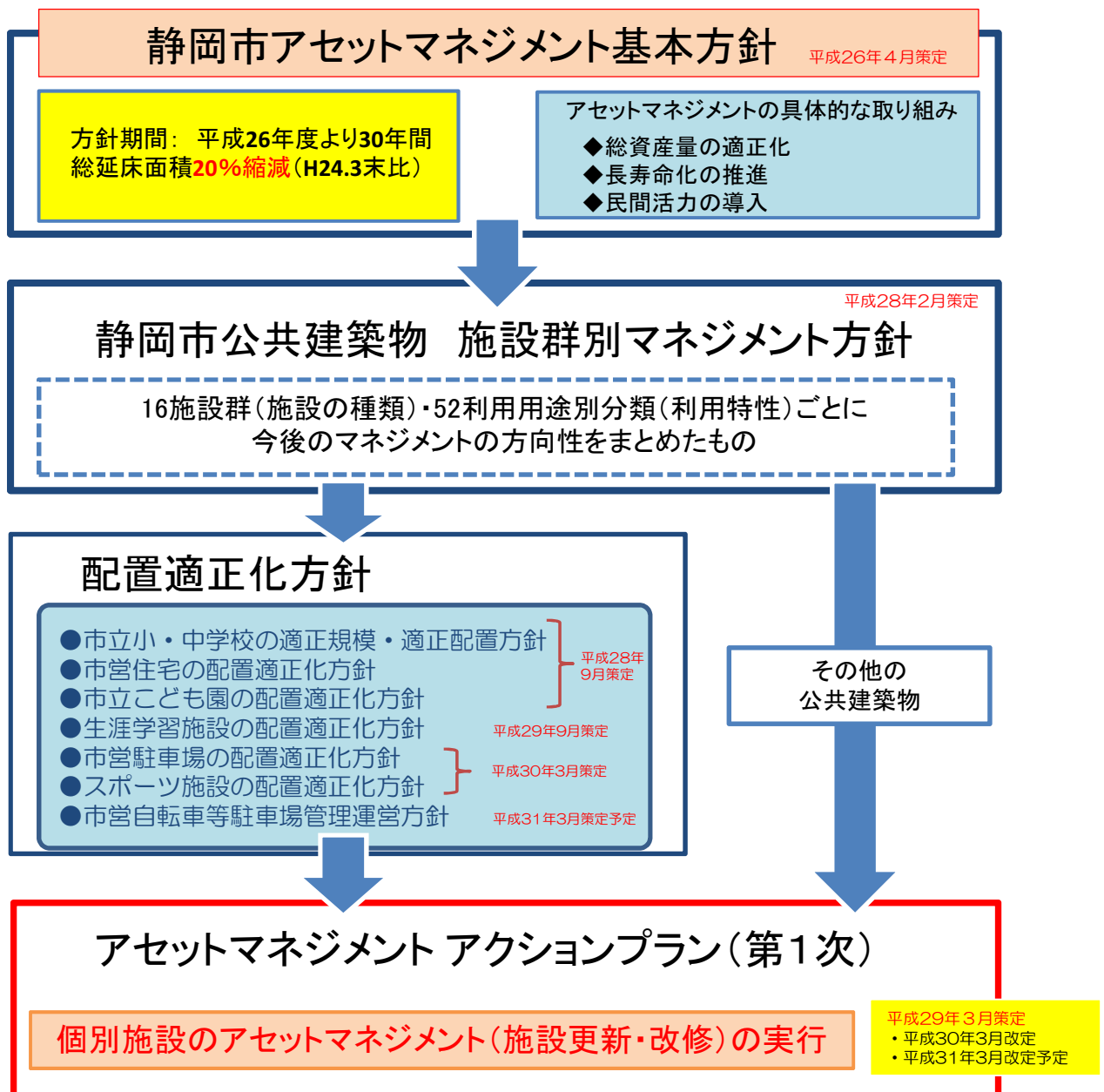
※1: 1,529施設（平成24年3月末時点: 基本方針より）

アセットマネジメントの推進にあたっては、「静岡市アセットマネジメント基本方針」を最上位方針に定めた上で、利用用途別に分類した「公共建築物施設群別マネジメント方針」において、各々の利用用途に応じた今後のマネジメントの方向性を示しています。

さらに、類似する施設が多い施設群についてはマネジメント方針で示した方向性を補完すべく「配置適正化方針」を定め、戦略的に実行していくこととしております。

また、実効性のあるアセットマネジメントを推進するために、「アセットマネジメントアクションプラン（第1次）」を策定し、第3次総合計画、予算編成と連動して取り組んでまいります。

■■■アセットマネジメント実行体系図■■■



平成31年度 主なアセットマネジメント関連事業

No.	局名	課名	事業名		平成31年度 当初予算額 (千円)	資料③ ページ	資料② ページ
1 総資産量の適正化							
※面積は予定面積							
1	市民局	生涯学習推進課	廃止	生涯学習交流館解体事業(中吉田)【H31解体】	面積減 148㎡	16,055	—
2	市民局 子ども 未来局	生涯学習推進課 子ども未来課	建替	飯田生涯学習交流館・清水北部地域児童館建設 事業【H31整備】	面積増 234㎡	212,500	216 53 83
3	市民局	生涯学習推進課	建替	生涯学習交流館建設事業(船越)【H31設計】	面積減 790㎡	45,500	216 53
4	環境局	ごみ減量推進課	廃止 建替	清水ストックヤード建設事業 【H31 旧清掃工場解体・ストックヤード整備】	面積減 3,450㎡	297,363	— 70
5	子ども 未来局	青少年育成課	一部 廃止	浜石野外センター宿泊棟解体事業【H31解体】	面積減 492㎡	18,920	— —
6	経済局	中山間地振興課	廃止	檜尾クリエイターズビレッジ解体事業【H31解体】	面積減 1,277㎡	121,861	— 103
7	都市局	住宅政策課	廃止	市営住宅耐震対策事業(清水中矢部団地) 【H31解体】	面積減 761㎡	22,000	— 110
8	教育局	教育総務課	廃止	旧大平青少年の家解体事業【H31解体】	面積減 209㎡	10,600	— —
9	教育局	教育施設課	統合	小中学校校舎等改修事業 (小中学校適正規模化の推進)【H31整備】	面積減 1,845㎡	160,600	— 121
10	教育局	教育施設課	建替	教職員住宅建設事業(大川)【H31整備】	面積減 562㎡	130,351	— 121
小計						1,035,750	
2 長寿化の推進							
11	財政局	管財課		静岡庁舎長寿化に伴う設備改修事業【H31整備】		130,000	— 50
12	市民局	生涯学習推進課		生涯学習交流館大規模改修・耐震補強事業(辻)【H31整備】		208,500	216 53
13	市民局	生涯学習推進課		生涯学習交流館大規模改修・耐震補強事業(折戸)【H31設計】		20,100	216 53
14	市民局	生涯学習推進課		生涯学習交流館大規模改修事業(玉川)【H31整備】		106,900	216 53
15	市民局	戸籍管理課		愛宕霊園管理事務所改修事業		23,000	— 55
16	環境局	廃棄物処理課		清掃工場基幹改修事業		15,550	— 71
17	保健福祉 長寿局	障害福祉企画課 (障害者福祉課)		桜の園屋上防水・外壁改修事業		60,786	— 74
18	子ども 未来局	子ども未来課		豊田児童館耐震補強・改修事業【H31設計】		1,700	— —
19	子ども 未来局	こども園課		高松こども園外6園外壁等改修事業		129,341	— —
20	経済局	商業労政課		東部勤労者福祉センター大規模特定天井改修事業		131,400	— 95
21	経済局	産業振興課		駿府匠宿改修事業		10,000	— 94
22	都市局	住宅政策課		市営住宅アセットマネジメント促進事業		488,600	— 110
23	都市局	住宅政策課		安倍口団地居住機能再生推進事業【H31 埋設配管改修設計】		78,000	— 110
24	消防局	財産管理課		常備消防庁舎施設保全事業(千代田・葵)【H31:(千代田)整備・(葵)設計】		306,094	— 116
25	教育局	教育総務課		南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家 新館宿泊棟・食堂棟大規模改修事業 【H31整備】		395,000	206 120
26	教育局	市立高等学校		市立高等学校校舎外壁等改修事業		56,351	— —
27	教育局	教育施設課		小中学校校舎等大規模改修事業・中規模改修事業		855,100	159 121
28	教育局	教育施設課		小中学校校舎トイレリフレッシュ事業・基幹設備等改修事業		629,200	159 121
29	教育局	中央図書館		中央図書館大規模改修事業【H31設計】		25,900	— 125
小計						3,671,522	
3 民間活力の導入							
30	企画局	アセットマネジメント推進課	公有地 活用	旧青葉小学校跡地利活用推進事業		10,524	36 49
31	企画局	アセットマネジメント推進課	PFI導入	新清水庁舎建設事業		20,230	66 49
32	子ども 未来局	子ども未来課 こども園課	民間譲渡	市立こども園等の配置適正化に伴う施設整備事業		311,265	— 83
小計						342,019	
合計						5,049,291	

3 次 総 重 点 プ ロ ジ ェ ク ト

歴史都市

<プロジェクトの目標>

家康公、東海道、三保松原など
本市を代表する歴史資源を活かした
交流人口を拡大する
まちづくりの推進



<成果目標>

「歴史・文化を身近に感じることができるまち」だと思
っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 64%(H26) → 74%(H34) 【62%(H29)】

「国内外の人々によく知られているまち」だと思
っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 37%(H26) → 70%(H34) 【35%(H29)】

①400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備等)

観光交流文化局、企画局、都市局

実現すべき将来像

- 受け継がれてきた歴史的・文化的な遺産を掘り起し、みがきあげ、核(ランドマーク)を現代に復活
- 駿府城エリアを拠点として、市内の歴史的・文化的な遺産を結びつけ連携した事業を展開することによる回遊性の向上

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 今川義元公生誕五百年祭記念事業の実施主体となる「今川義元公生誕五百年祭推進委員会」を設立し、市民へ記念事業実施に向けて周知を実施した。
- 歴史文化の拠点づくりの核施設としてのコンセプト及び構成を詳細に整理し基本設計の概要を決定することができた。
- 駿府城跡天守台発掘調査「見える化」事業では、見学ゾーンや、速報展示等を行う「発掘情報館きゃっしる」に、1年間で10万人の見学者があり、市内外へ広くPRできた。駿府城跡天守台発掘調査事業では、天守台中央部分等の発掘調査を計画通り実施した。

平成30年度の主な事業

400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備)



歴史文化施設建設事業
(観光文化交流局)
【507,285千円】



駿府城跡天守台発掘
調査・見える化事業
(都市局・観光文化交流局)
【114,061千円】



お堀の水辺(葵舟)活用
事業(都市局)
【12,000千円】

平成31年度の取組

- シンボルイベントとなる「(仮称)今川復権まつり」の実施による、市民の今川顕彰への機運醸成を図り、継続的な顕彰事業を官民連携で進めていく。
- 歴史文化施設の建築及び展示工事に着手する。また、開館に向け、展示に必要な資料購入・レプリカ製作を進めていく。
- 調査最終年となる駿府城跡天守台発掘調査や、見える化事業を引き続き実施する。また、遺構の野外展示化を検討する。
- 東御門橋(駿府城公園)架替え事業では、橋梁実施設計を実施する。
- 駿府城公園周辺エリアにおける新たな歴史観光コンテンツの一つとして、公園中堀における葵舟の本格運行に向けた担い手の準備及び旅行エージェンツ向けセールスを実施する。
- 追手町音羽町線では、歴史資源を活かした賑わいと魅力ある道筋となるよう、水辺デッキと一体的に活用できる道路空間等の整備を行い、城内1号線では、歴史文化施設と連続した道路空間の整備に向けて設計を行う。

400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備)



歴史文化施設建設事業
(観光文化交流局)
【1,470,360千円】



駿府城跡天守台発掘
調査・見える化事業
(都市局・観光文化交流局)
【119,384千円】



お堀の水辺(葵舟)活用事業
(観光文化交流局・都市局)
【37,700千円】

② 東海道歴史街道(二峠六宿)の推進

観光交流文化局

実現すべき将来像

- 歴史都市として世界から認められる街道観光の聖地化
- 多くの外国人個人旅行者が街道観光を楽しむ環境づくり
⇒ 交流人口拡大及び観光消費増加による地域経済活性化

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 東海道歴史街道まち歩き推進事業では、28年度に引き続き駿河 東海道おんぱくへの取り組みによる観光プログラム開発や、市内周遊性を促進するツールとしてオリジナルハンカチスタンプラリーの開発を進め、観光商品の実用化へ近づくことができた。
- 全国街道交流会議第12回全国大会「しずおか大会」の開催に向け実行委員会を設立し、本市の街道観光推進の取組の情報発信と、広域連携へ向けた下準備を進めることができた。

平成30年度の主な事業

観光誘客の促進



東海道歴史街道観光誘客促進事業
(観光交流文化局)
【20,014千円】



東海道歴史街道宿場まつり等
助成事業(観光交流文化局)
【9,030千円】

平成31年度の取組

- JRの大型観光キャンペーン「静岡ディスティネーションキャンペーン」等に合わせ、市内周遊促進ツールであるオリジナルハンカチスタンプラリーの販売を実施する。
- 引き続き駿河 東海道おんぱくへの取組による地域資源を活用した体験型プログラムの開発・商品化を進める。
- 全国街道交流会議第12回全国大会「しずおか大会」を契機とした、県内宿場町との連携を進め、街道観光の広域展開を目指していく。

観光誘客の促進



東海道歴史街道観光誘客促進事業
(観光交流文化局)
【14,300千円】

東海道歴史街道宿場まつり等
助成事業(観光交流文化局)
【9,030千円】

③ 三保松原の保全と活用

観光交流文化局、建設局

実現すべき将来像

- 世界遺産を構成する三保松原の景観を守るとともに、その価値を発信し、来訪者の満足度を向上
- 三保松原の魅力が向上し、アクセスしやすくなることで、三保半島全体の活性化を実現

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 松原の保全では、マツ材線虫の被害本数が年24本となり、目標としていた年1本/ha以下を達成することができた。
- 来訪者対策では、文化庁の現状変更許可を得て、三保松原文化創造センターの建設工事に着手した。
- 羽衣公園整備事業では、計画通り雨水地下調整池整備工事が完了し、公園施設整備工事に着手した。
- 来訪者のアクセス向上のため、(市)羽衣海岸線の整備を推進した。
- 風致景観の保全に向け、(都)清水港三保線の整備を推進した。

平成30年度の主な事業

松原の保全



三保松原保全再生化事業
(観光交流文化局)
【76,631千円】

風致景観の保全



(都)清水港三保線街路整備
事業(建設局)【31,000千円】

来訪者の対策



(仮称)三保松原ビジターセンター
建設事業(観光交流文化局)
【601,422千円】

平成31年度の取組

- 松原の保全対策としては、平成30年度に完成する三保松原文化創造センターを拠点として、マツ材線虫防除などの松枯れ対策を継続していくとともに、防潮・防風機能と景観的価値を兼ね備えた美しい松原の再生に取り組んでいく。また、松原に隣接する民有地を公有地化して、松原として再生していく。
- 来訪者対策では、三保地区へのアクセス向上を図るため、(市)羽衣海岸線の整備を推進する。

来訪者の対策



羽衣海岸線道路新設改良事業
(建設局)【100,000千円】

松原の保全



三保松原保全再生化事業
松原の保全・再生
(観光交流文化局)
【76,962千円】

松原の保全



三保松原保全再生化事業
(観光交流文化局)
【76,962千円】

風致景観の保全



(都)清水港三保線街路整備
事業(建設局)【100,000千円】

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

1 歴史都市	悠久の歴史を誇りとして活かした風格のあるまちづくりの推進
1-①	400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備等)

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
400+プロジェクトの実施									
1	観光交流文化局	歴史文化課	継続	歴史文化推進事業	ソフト	2,768			61
2	観光交流文化局	文化振興課	拡充	第78期将棋名人戦第0局開催事業	ソフト	7,000		29	66
駿府城公園エリアの整備の推進									
3	観光交流文化局	歴史文化課	継続	歴史文化施設建設事業	ハード	1,463,800	①歴史文化	30	62
4	観光交流文化局	文化振興課	新規	静岡市市民文化会館再整備方針検討事業	ハード	20,032	①歴史文化	31	67
5	観光交流文化局 都市局	観光・国際交流課 緑地政策課	拡充	駿府城公園お堀の水辺活用事業	ハード ソフト	37,700	①歴史文化	32	59 106
6	観光交流文化局 都市局	歴史文化課 公園整備課	拡充	駿府城跡天守台発掘調査・見える化事業	ハード ソフト	119,384	①歴史文化	33	62 107
7	都市局 建設局	市街地整備課 道路計画課	継続	★追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業	ハード	179,700	①歴史文化	34	105 113
8	都市局	公園整備課	継続	東御門橋(駿府城公園)架替え事業	ハード	8,000	①歴史文化	35	107
9	企画局	アセットマネジメント 推進課	拡充	旧青葉小学校跡地利活用推進事業	ソフト	10,524	①歴史文化	36	49
10	都市局	緑地政策課	継続	★駿府城公園「桜の名所」づくり事業	ハード	600			107
その他									
11	観光交流文化局	観光・国際交流課	新規	今川義元公生誕五百年祭推進事業	ソフト	66,000	①歴史文化	37	60
12	観光交流文化局	歴史文化課	拡充	朝鮮通信使ユネスコ「世界の記憶」発信事業	ソフト	9,074			62
13	観光交流文化局	歴史文化課	継続	歴史文化施設プレ事業	ソフト	6,560		38	62
14	観光交流文化局	文化財課	拡充	駿府九十六ヶ町町名碑設置事業	ソフト	2,970	①歴史文化		62
15	観光交流文化局	文化財課	拡充	文化財サポーター育成 (★「静岡シチズンカレッジこ・こ・に」推進事業)	ソフト	434	③教育文化	214	62
計						1,934,546			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 844,005

1 歴史都市 ①400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備等)

【拡充】

第78期将棋名人戦第0局開催事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	7,000				7,000
前年度予算額	7,000				7,000

目的

家康公顕彰四百年記念事業の一環として平成24年度から開始された将棋関連事業により、「本市と家康公」「本市と将棋」の繋がりを広くPRしてきたが、これらのイメージの定着を図るとともに、将棋を通じた地域活性化を更に進めていく。

事業概要

名人への挑戦者等を決める、トッププロ棋士10名によるリーグ戦「A級順位戦」の最終局を、静岡市では将棋名人制度を創設した徳川家康公に因み、「将棋名人戦第0局」と銘打ち開催する。

○実施時期 2020年 2月末または3月初旬 4日間

○実施場所 浮月楼、アイセル21

○実施内容

【1日目】前夜祭(定員100名)

【2日目】対局

大盤解説会(定員420名)

多面指し指導将棋(定員40名)

色紙サイン会(定員100名)

【3日目】親子将棋講座(定員 親子30組) **新規**

【4日目】静岡市長杯こども将棋大会(定員 小中学生120名)

<平成29年度 第76期将棋名人戦第0局>



前夜祭



対局



多面指し指導将棋



色紙サイン会



静岡市長杯こども将棋大会

1 歴史都市 ①400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備等)

歴史文化施設建設事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	1,463,800	651,120	611,500	57	201,123
前年度予算額	507,285	203,894	204,800	2,306	96,285

目的

静岡市への愛着と憧れを生み出す施設を目指して、歴史文化のまちづくりの拠点となる歴史文化施設を、2021年度開館に向けて整備する。

事業概要

- 1 建設・展示工事 1,335,266千円
○建物・外構工事、電気等設備工事、
展示工事、発掘調査等
 - 2 東御門・翼櫓展示改修設計 10,000千円
○駿府城のガイダンス施設としての展示改修設計
 - 3 情報システム整備 4,793千円
○施設の情報発信や、運営及び収蔵品管理のための
システム・ネットワークの整備 ほか
 - 4 資料収集・調査ほか 113,741千円
○施設で展示する歴史資料の購入、レプリカ作成 ほか
- 【スケジュール】
○平成31(2019)年度～2021年度
施設整備(建設工事、展示制作、資料調査・収集、開館準備)
○2021年度
供用開始



歴史文化施設外観イメージ図



甲冑復元模造品製作に伴う調査の様子
(歴史文化施設で展示予定)

1 歴史都市 ①400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備等)

【新規】

静岡市市民文化会館再整備方針検討事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	20,032				20,032
前年度予算額					

目的

静岡市民文化会館が静岡都心の芸術文化の拠点になるとともに、市内外から多くの人を惹きつけ、周辺エリアの回遊性を高め、経済波及効果をもたらす施設となるよう、今後の施設機能について検討する。

事業概要

静岡市民文化会館の施設の躯体、設備などの状況把握、本施設に求められる機能や施設の整備手法などを検討し、今後の施設の整備方針を決定する。

- 1 機能改善計画策定 20,000千円
 - 策定時期 2020年3月(予定)
 - 策定に係る調査検討項目
 - ・老朽化の状況、改修による耐用年数把握などの基礎調査
 - ・施設の規模、部門構成(施設配置)などの施設計画
 - ・改修・改築の比較、民間活力の導入などの整備手法
 - ・新たに必要となる公的機能に関する市民意見

- 2 先進都市事例調査 32千円
 - 所沢市市民文化センター(予定)
 - (PFI方式による改修・運営事例)



静岡市民文化会館

1 歴史都市 ①400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備等)

【拡充】

駿府城公園お堀の水辺活用事業

観光交流文化局・都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	37,700	8,100	12,600		17,000
前年度予算額	12,000	6,000			6,000

目的

駿府城公園周辺エリアにおける新たな歴史観光コンテンツの一つとして、静岡都心の賑わいを創出するとともに、「歴史文化のまち」づくりを促進する。

事業概要

2020年春における駿府城公園中堀での葵舟本格運航実施を目指し、船頭等の育成により担い手の準備と、乗船場等の整備を実施する。また、観光誘客促進による健全な運営を目指すため旅行事業者へのセールスを実施する。

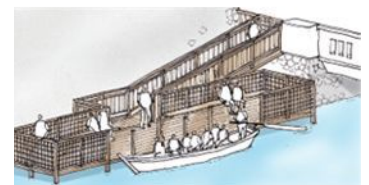
- 1 船頭養成事業（操船技術・ガイド技術） **新規** 800千円
本格運行において担い手となる船頭の養成を実施する。
- 2 旅行商品造成事業 **新規** 14,700千円
旅行商品造成に向けた事業者向けファムトリップ及び船舶のお披露目運航を実施する。
○夏季（8月） ファムトリップ（10社程度招聘）
○秋季（11月） お披露目運航
- 3 乗り場等の整備 **新規** 22,200千円
○仮設乗り場等の整備
○船舶購入（1隻）



H30春・運行実験
(静岡まつり)



H30秋・運行実験
(大道芸W杯)



乗り場(完成イメージ)



船舶(イメージ(松江))

1 歴史都市 ①400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備等)

【拡充】

駿府城跡天守台発掘調査・見える化事業

観光交流文化局・都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	119,384			10,569	108,815
前年度予算額	114,061			71,645	42,416

目的

駿府城再建に向けて天守台の学術的なデータを得るため、発掘調査を行う。得られた成果を活かして、発掘調査を歴史学習の場、観光資源化するために「見える化」を行う。

事業概要

4か年で実施する発掘調査の最終年に当たり、今川時代の遺構の有無や、石垣の測量や石材調査などを行う。あわせて、発掘調査成果の見学会や展示も行う。

また、家康の天守台に加え、平成30年度新たに発見された豊臣の遺構等も含めた野外展示化を検討する。

- 1 発掘調査 94,500千円
○発掘作業員賃金、重機等機械借上、石垣測量 ほか
- 2 防草シート設置工事 5,500千円
○発掘調査で発生した土の盛土、防草シートの設置
- 3 発掘調査「見える化」 19,384千円
○発掘情報館きゃっしる、見学ゾーンの運営管理
○タブレット端末を利用した駿府城タイムトラベルツアー
○見学会、シンポジウムなどの周知普及事業
○遺構の野外展示化検討 **新規** ほか



駿府城公園と天守台発掘調査区



金箔瓦



現場見学会

1 歴史都市 ①400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備等)

追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業

都市局・建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	179,700	88,450	79,500		11,750
前年度予算額	114,051	57,000	49,900	1,000	6,151

目的	追手町音羽町線・城内1号線について、「駿府城公園とおまちを繋ぐ魅力ある道筋」となるよう、官民連携による賑わい創出、安全で快適に回遊・滞留できる空間を形成し、歩いて楽しいまちづくりを推進する。
----	---



事業概要	<p>追手町音羽町線では、歴史資源を活かした賑わいと魅力ある道筋となるよう、水辺デッキと一体的に活用できる道路空間等の整備を行う。また、城内1号線では、歴史文化施設と連続した道路空間の整備に向けて設計を行う。</p>
	<p>1 追手町音羽町線にぎわい空間整備 ○道路整備工事 等 166,500千円</p> <p>2 城内1号線の再整備 ○実施設計 等 13,200千円</p>



1 歴史都市 ①400+プロジェクトの推進（駿府城公園エリアの整備等）

東御門橋（駿府城公園）架替え事業 都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	8,000	4,000	3,600		400
前年度予算額	5,000				5,000

目的	<p>これまで、部分修繕等により橋梁の延命化を図ってきたが、橋梁定期点検により、床版及び主構の腐朽が顕著であることが確認されたことから、来園者の安全確保のため、橋梁の架替えを実施する。</p>
----	--



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業期間 平成30年度～2020年度 2 事業箇所 葵区 駿府城公園 地内（駿府城公園 東御門橋） 3 整備内容 橋梁架替え 4 事業内容 橋梁実施設計（平成31（2019）年度） 橋梁架替工事（2020年度） 5 整備効果 東御門橋の機能復元 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的遺産の保存・再整備 ・ 来園者の安全確保 ・ 景観の向上
------	---

完成時 平成8年



現況



位置図



腐朽により通行制限

桁



床板



1 歴史都市 ①400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備等)
【拡充】

旧青葉小学校跡地利活用推進事業

企画局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,524				10,524
前年度予算額	3,417				3,417

目的	歴史文化拠点の玄関口として、歴史文化施設との相乗効果により交流人口の増加や賑わいを創出するため、本市のブランド力を高める民間施設の誘致を図る。
----	---

事業概要	<p>歴史文化施設との相乗効果、民間活力導入による新たな収入源の確保などを利活用方針としてまとめ、民間企業へヒアリングを行う。市のブランド力を高める民間施設の参画が見込まれる場合は、公募を実施する。</p> <p>1 跡地利活用事業に係る公募・審査・選定支援 新規 10,000千円 ○事業者の公募・審査・選定の実施に係る支援 ○不動産鑑定評価</p> <p>2 事業者審査委員会の設置・運営 新規 524千円 ○委員 5名程度 ○全4回開催 (予定)</p>
------	--



1 歴史都市 ①400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備等)

【新規】

今川義元公生誕五百年祭推進事業

観光交流文化局

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2以内)	市債	その他	
当初予算額	66,000	2,150			63,850
前年度予算額					

目的
2019年に静岡市ゆかりの戦国武将「今川義元公」生誕五百年祭という節目の年を迎えるため、義元公の優れた功績を再評価し顕彰することで、義元公を誇り高く語ることの市民を増やし、歴史文化のまちづくりの推進を図る。

事業概要
今川義元公生誕五百年祭推進委員会が開催する「今川義元公生誕五百年祭」に対する負担金

- 1 (仮称) 今川復権まつり (春フェスと連携) 45,115千円
義元公の理解促進及び中心市街地の賑わい創出を目的とした各種イベントの実施
○日時 平成31(2019)年5月3日～6日
○場所 駿府城公園内及び周辺
- 2 今川シンポジウム 3,885千円
義元公の命日にシンポジウムを開催
○日時 平成31(2019)年5月19日
○場所 静岡市民文化会館
- 3 周知啓発事業 17,000千円
義元公の認知度向上のための啓発及び「今川義元公生誕五百年祭」のプロモーションの実施



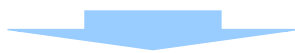
1 歴史都市 ①400+プロジェクトの推進(駿府城公園エリアの整備等)

歴史文化施設プレ事業 観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	6,560				6,560
前年度予算額	5,286				5,286

目的	歴史文化のまちづくりの拠点となる歴史文化施設の開館に向け、多くの市民が期待感をもつことができるよう意識醸成を図る。
----	---



事業概要	<p>1 展示事業 5,000千円 歴史文化施設での展示へつなげるため、 今川義元公生誕五百年事業と連携した企画展の実施 ○4月～5月 文化財資料館 ○4月～12月 巽櫓</p> <p>2 協働、連携による活動 300千円 静岡大学と連携した臨済寺古文書調査の中間報告会の開催 ○5月 しずぎんホールユーフォニア(予定)</p> <p>3 歴史観光ガイド 1,260千円 歴史文化施設の展示と市内各地の歴史資源をつなぐ展示 ガイドの仕組みの試行や素材づくり</p>
------	---



「静岡発 近代日本のはじまり」展
(H30.6)

旧青葉小学校舎メモリアルイベント
「うまれかわりの文化祭」(H30.6)



3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

1 歴史都市	悠久の歴史を誇りとして活かした風格のあるまちづくりの推進
1-②	東海道歴史街道(二峠六宿)の推進

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
東海道歴史街道まち歩き推進事業									
1	観光交流文化局	観光・国際交流課	継続	東海道歴史街道おもてなし環境整備事業	ソフト	2,628	①歴史文化	41	59
2	観光交流文化局	観光・国際交流課	継続	東海道歴史街道観光誘客促進事業	ソフト	14,300	①歴史文化	42	59
その他									
3	観光交流文化局	観光・国際交流課	継続	デスティネーションキャンペーン推進事業	ソフト	5,176			60
計						22,104			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 48,575

1 歴史都市 ②東海道歴史街道(二峠六宿)の推進

東海道歴史街道おもてなし環境整備事業 観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	2,628			210	2,418
前年度予算額	11,239			210	11,029

目的	東海道歴史街道を訪れる来訪者のおもてなしする環境と体制を整え、観光交流人口の拡大、地域活性化を図る。
----	--



事業概要	<p>東海道に根付く地域の魅力を活用し、国内外問わず多くの観光客を迎える環境を整備。</p> <p>1 観光ボランティアガイド等おもてなし人材の育成 828千円 ○養成講座事業（静岡シチズンカレッジこ・こ・に） ・観光ボランティアガイドコース ・英語deおもてなしサポーターコース</p> <p>2 東海道まち歩き環境等整備事業 1,800千円 ○東海道観光案内板修繕 ○清水港クルーズ船客観光案内業務</p>
------	--



観光案内板



清水港クルーズ船客
観光案内

東海道歩きの
安心・安全な環境の提供





観光ボランティアガイド等養成

東海道歩きの
おもてなしする人材の提供

1 歴史都市 ②東海道歴史街道(二峠六宿)の推進

東海道歴史街道観光誘客促進事業 観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	14,300				14,300
前年度予算額	20,014				20,014

目的 東海道歴史街道に根付く「地域資源」を活用し、年間を通じて国内外から多くの観光客を誘客し、観光交流人口の拡大、地域活性化を図る。



事業概要

東海道のヒトやモノの往来により育まれ、根付いてきた歴史や文化等地域の魅力を新しい視点で掘り起こして活用し、市内の回遊性を高める周遊ツールや、観光プログラムを開発する。
また本市の街道観光への取り組みを効果的に発信し、認知度向上を図る。

1 観光プログラムの創出 12,600千円
 ○回遊性向上のための周遊ツールの造成・販売
 ○駿河 東海道おんぱくの開催による体験プログラムの開発

2 戦略的な情報発信 1,700千円
 ○しずおか東海道まちあるきガイドブック改訂
 ○しずおか東海道まちあるきwebサイト運営



**しずおか東海道
ご縁めぐり
スタンプラリー**

東海道の周遊を促進するツールの販売



**駿河 東海道
おんぱく**

東海道の魅力を体感できるプログラムの開発



**しずおか東海道
まちあるき
ガイドブック**

**しずおか東海道
まちあるき
Webガイド**

東海道の魅力を戦略的に発信

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

1 歴史都市	悠久の歴史を誇りとして活かした風格のあるまちづくりの推進
1-③	三保松原の保全と活用

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
松原の保全									
1	観光交流文化局	文化財課	新規	三保松原文化創造センター管理運営事業 (仮称)三保松原保全研究機構運営費助成	ソフト	50,100		45	63 64
2	観光交流文化局	文化財課	拡充	三保松原保全活用事業	ハード ソフト	185,389		46	63
風致景観の保全									
3	建設局	道路計画課	継続	都市計画道路整備事業 清水港三保線	ハード	100,000		47	113
来訪者管理戦略									
4	建設局	道路計画課	継続	羽衣海岸線道路改良事業	ハード	100,000		48	113
計						435,489			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 1,179,004

1 歴史都市 ③三保松原の保全と活用

【新規】

三保松原文化創造センター管理運営事業
(仮称) 三保松原保全研究機構運営費助成

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	50,100			174	49,926
前年度予算額					

目的	三保松原文化創造センターと(仮称)三保松原保全研究機構が連携して、専門性の高い松原の保全を行い、更にそれを活用することで、三保松原の自然が織り成す白砂青松を、次世代につなげていく。
----	--

事業概要	<p>松原の保全、再生、活用の拠点となる三保松原文化創造センターを運営するとともに、保全・再生事業の主体となる(仮称)三保松原保全研究機構の運営を支援する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 三保松原文化創造センター管理運営事業 30,100千円 三保松原の価値や魅力、観光情報を発信するとともに、松原保全の普及啓発を図る。 ○施設の機能 <ul style="list-style-type: none"> ・1F: 展示室(企画展の開催)、映像シアター、観光案内ほか ・2F: 会議室、図書・体験展示コーナーほか ○供用開始 平成31(2019)年3月30日(予定) (仮称)三保松原保全研究機構運営費助成 20,000千円 松原保全に関する知見を蓄積し、継続して保全に取り組んでいくための、市・県・民間で設立する財団法人への運営補助 ○設立時期 平成31(2019)年4月末
------	---

【三保松原文化創造センターの機能】

三保松原文化創造センター
〔三保松原の保全・活用〕

- ①三保松原に関する価値の展示
- ②観光情報の発信
- ③三保松原保全の拠点機能
- ④三保松原に関する文化的・学術的な調査研究、教育

連携

(仮称)一財 三保松原保全研究機構 〔三保松原の保全〕

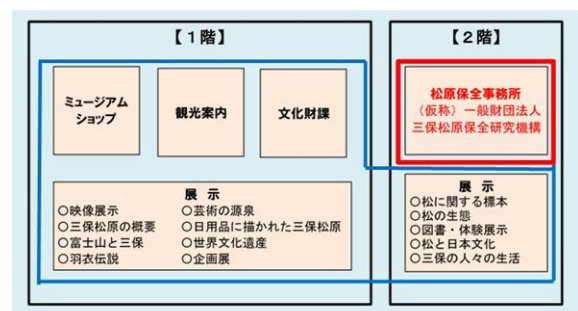
③三保松原保全の拠点機能

- 〔公益事業〕
保全活動の支援、保全に関する調査・研究
- 〔研究開発事業〕
三保由来の抵抗性マツの開発
- 〔受託事業〕
日常的・専門的な管理業務、人材育成
- 〔収益事業〕
街路樹、公園樹木等の診断、工場緑化対策

【三保松原文化創造センター建物の配置】



三保松原文化創造センター



1 歴史都市 ③三保松原の保全と活用

【拡充】

三保松原保全活用事業 観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (8/10, 1/2)	市債	その他	
当初予算額	185,389	90,876	7,400		94,513
前年度予算額	171,249	84,914	12,000		74,335

目的 「三保松原」の価値や魅力の源泉である松原を保全するとともに、景観の回復や松原の再生を図り、名勝であり世界文化遺産である「三保松原」を世界に向けて発信していく。



事業概要

- 1 松原保全事業** 57,425千円
 三保松原の象徴である老齢大木を病気や倒伏から守る。
 ○枯れマツの伐倒駆除や薬剤散布などのマツ材線虫防除
 ○老齢大木の枝落とし **新規**
- 2 松原再生事業** 103,314千円
 三保松原を景観的に優れた健全な松林へと再生する。
 ○間伐試験や神の道へのマツの移植などの景観改善 **拡充**
 ○三保由来のマツの育苗などを行うため、松原周辺を公有地化
 ○松原管理システムの更新 **新規**
- 3 松原活用事業** 24,650千円
 マツや松原の景観を活用した三保モデル創造事業を進める。
 ○松原フォーラム、保全団体等を対象とした保全研修の開催 **拡充**
 ○ガイドを支援する音声・文字によるガイドシステムの構築 **新規** ほか

【保全事業】



空洞化した危険木（現状）



倒伏対策の木製支柱

【再生事業】



危険木を伐倒した神の道（現状）



移植により再生した神の道（イメージ）

【活用事業】



1 歴史都市 ③三保松原の保全と活用

都市計画道路整備事業 清水港三保線

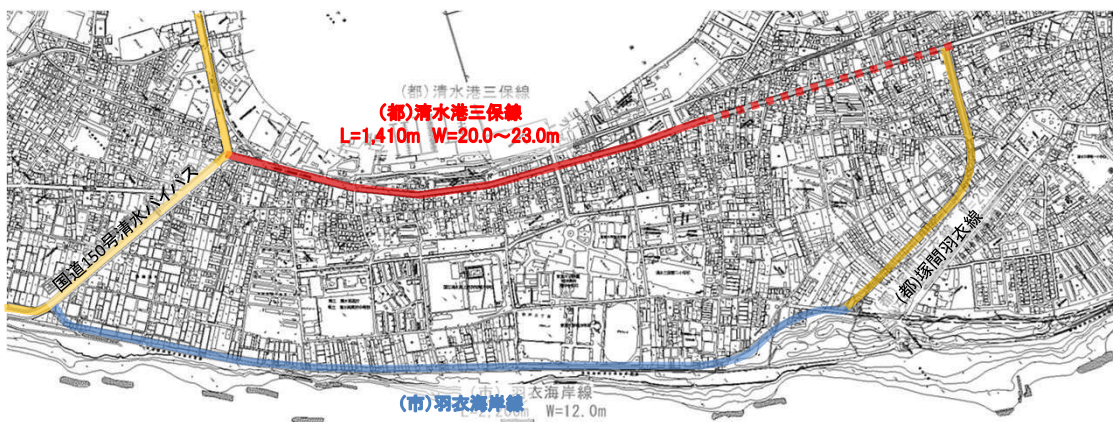
建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	100,000	50,000	47,000		3,000
前年度予算額	31,000	17,050	12,500		1,450

目的	(都)清水港三保線は三保半島を東西に結び、世界文化遺産富士山の構成資産である三保松原へのアクセス道路であるとともに、(市)羽衣海岸線や(都)塚間羽衣線と連結し、三保半島の環状道路網を構築する。
----	--

事業概要	<p>○防災・安全社会資本整備交付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業箇所 静岡市清水区駒越北町～折戸 ・延長・規格 L=1.4km、4種2級(50km/h) W=20.0～23.0m(4車線) ・事業着手年度 平成19年度 ・全体事業費 2,654百万円 ・平成31(2019)年度事業内容 街路築造工事、物件調査
------	---



道路整備着手前



整備済み箇所の状況

1 歴史都市 ③三保松原の保全と活用

羽衣海岸線道路改良事業

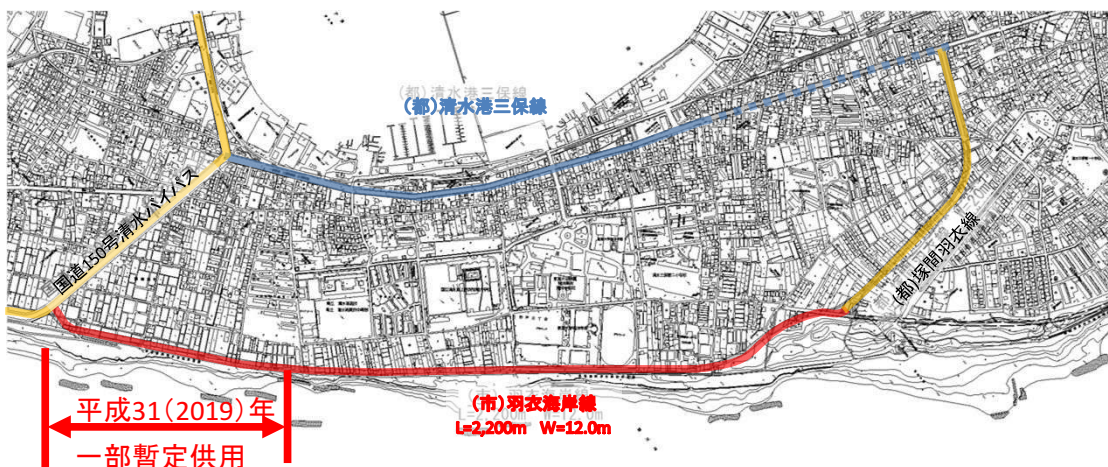
建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	100,000	50,000	49,000		1,000
前年度予算額	222,460	111,230	100,100		11,300

目的	<p>(市) 羽衣海岸線は三保半島を東西に結び、世界文化遺産富士山の構成資産である三保松原へのアクセス道路であるとともに、(都) 塚間羽衣線や(都) 清水港三保線と連結し、三保半島の環状道路網を構築する。</p>
----	--

事業概要	<p>○道整備交付金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業箇所 静岡市清水区折戸～三保 ・延長・規格 L=2.2km、3種2級(40km/h) W=12.0m(3車線) ・事業着手年度 平成16年度 ・全体事業費 1,961百万円 ・平成31(2019)年度事業内容 用地物件補償
------	---



文化都市

＜プロジェクトの目標＞

伝統や食の文化、芸術、
スポーツなど
多彩で豊かな地域資源を活かした
人々が訪れたいと憧れを抱く
まちづくりの推進



＜成果目標＞

「歴史・文化を身近に感じることができるまち」
だと思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 64%(H26) → 74%(H34)【62%(H29)】

「スポーツの盛んなまち」だと思っている市民の割合
(市民意識調査)

そう思う 71%(H26) → 80%(H34)【66%(H29)】

① 東静岡・草薙地区の賑わい創出

企画局、観光交流文化局、経済局、都市局、建設局

実現すべき将来像

- 商業、文化機能を有する静岡都心、港などの観光資源を有する清水都心とともに、東静岡駅周辺を「文化・スポーツエリア」、草薙駅周辺を「文教エリア」として、本市の有する文化力の集積を交通結節点上に配置し、その相乗効果により更なる本市の魅力向上を図る。

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 東静岡地区では、東静岡アート&スポーツ/ヒロバの平成29年度の利用者数は、当初8,000人を想定していたが、平成30年3月末現在で17,487人と想定を大幅に上回り、賑わいの創出に繋がった。
- 草薙地区では、30年度の駅北口周辺整備の完成に向け、駅前広場やアクセス道路工事の進捗を図るとともに、常葉大学の開校を見据え、駅北側に必要な交通環境整備の検討を行った。

平成30年度の主な事業

東静岡地区の賑わいづくりの推進



東静岡地区「アート&スポーツ/ヒロバ」運営事業
(企画局)【56,000千円】



東静岡アートプロジェクト事業
(観光交流文化局)【10,000千円】

草薙地区の賑わいづくりの推進



草薙駅周辺整備事業
(南北駅前広場整備等)(都市局)【299,879千円】



草薙駅周辺エリアマネジメント
支援事業(都市局)【3,000千円】

平成31年度の取組

- 東静岡地区においては、「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」を拠点として東静岡アートプロジェクト事業を実施することにより、賑わいの定着、地域経済の活性化に繋げていく。
- 草薙駅周辺地区においては、南口エリアを対象に南口GD研究会で作成された基本方針の実現のため、快適な移動システムなどの検討支援を行い、多くの若者や地域住民で賑わう、「教育文化拠点」づくりを地域と共に取り組む。
- 草薙駅北側では、地区の交通環境改善を図るため、国道横断方策の具体化に向けた取り組み等を行う。

東静岡地区の賑わいづくりの推進



東静岡地区「アート&スポーツ/ヒロバ」運営事業
(企画局)【56,340千円】



東静岡アートプロジェクト事業
(観光交流文化局)【15,000千円】

草薙地区の賑わいづくりの推進



草薙駅周辺エリアマネジメント
支援事業(都市局)【6,400千円】



JR草薙駅北口周辺交通環境改善事業
(建設局)【7,000千円】

② 清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進

経済局、企画局、観光交流文化局、都市局、建設局

実現すべき将来像

- 新たな海洋産業・研究、国内外からの客船寄港などで活性化し、ウォーターフロントを中心とした「国際海洋文化都市」への転換
- 客船誘致の推進等により各地区を繋ぐ回遊性の向上が図られることによる「みなと」と「まち」が一体となった清水都心ウォーターフロント都市デザインの推進。
- 中部横断自動車道の開通により、清水港へのアクセス向上が図られることによる、ウォーターフロントを拠点とした新たな観光文化交流の創造。

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 清水港客船誘致事業では、過去最大となる42隻の寄港をもたらすことができた。また、平成28年度に実施したワーキンググループの分析結果を受け、運営委員会を立ち上げた。更に、回遊性に関する課題解決のためトライアル事業を実施し、クルーズ乗船客の回遊を促した。
- 海洋文化拠点調査事業では、海洋文化施設の基本計画策定に着手し、海外視察（モントレー）や海洋普及啓発活動を実施し、機運醸成を図った。
- 清水都心ウォーターフロント地区開発推進会議及び清水都心ウォーターフロント都市デザイン専門家会議を開催し、県と共同して清水都心ウォーターフロント地区の活性化や回遊性向上を図った。

平成30年度の主な事業

海洋文化の拠点づくりやクルーズの活性化



清水港客船誘致事業
(経済局)【61,620千円】



清水都心WF活性化
推進事業(経済局・都市局)
【75,400千円】



海洋文化施設整備推進事業
(経済局)【49,884千円】

清水中心市街地の賑わい創出



富士山コスプレ
世界大会開催費助成
(観光交流文化局)
【5,000千円】



清水港マグロまつり
開催費助成
(経済局)【6,500千円】



清水港海づり公園
整備事業
(経済局)【322,000千円】

その他

平成31年度の取組

- 客船誘致の更なる促進や、ウォーターフロントの賑わい創出と回遊性向上のため、清水港線跡遊歩道の段階的整備を継続する。
- 海洋文化施設の基本計画に基づいた官民連携の事業化や、施設実現に向けた施設要求水準書の作成を進めるとともに、運営事業者を選定していく。
- 中心市街地の魅力を高め、集客力の向上と賑わい創出を図るため、富士山コスプレ世界大会を開催する。更に、マグロを活かしたまちづくりを実現するため、清水港マグロまつり等を開催する。
- 新興津地区では（仮称）新興津ビーチパーク構想における拠点となる清水港海づり公園の基礎工と上部工を実施する。併せて、背後地の活用について地域振興拠点とするための協議、検討を行う。
- 関係各局と連携し、平成31年度清水港開港120周年記念事業を開催する。

海洋文化の拠点づくりやクルーズの活性化



清水港客船誘致事業
(経済局)【56,385千円】



海洋文化施設整備推進事業
(経済局)【1,419,930千円】



清水都心WF活性化
推進事業(経済局)
【28,000千円】



2019年清水港は
開港120周年です
(経済局)【45,000千円】

清水中心市街地の賑わい創出



富士山コスプレ
世界大会開催費助成
(観光交流文化局)
【5,000千円】



清水港マグロまつり
開催費助成
(経済局)【6,500千円】



清水港海づり公園
整備事業
(経済局)【402,000千円】

その他

③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

観光交流文化局、企画局、都市局、経済局

実現すべき将来像

- 本市に根付いた大道芸などの芸術文化等の誰もが気軽に楽しむことができる仕掛けを創出することによる、交流人口の増加や地域経済の活性化。
- オクシズやしずまへの有する食文化、伝統文化等の地域資源の価値を高め、広く認識されることによる、地域社会の継続的な発展。

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 「まちは劇場！イベントニュース」を創刊し、春フェス・秋フェスの情報を中心に、「まちは劇場」の取組のPRを図り、各事業において目標を大幅に上回る集客が図られた。CCCでは「七間町ハブニング2」などのイベントを展開し、市民にパフォーミングアーツの魅力を伝え、高評価が得られた。
- オクシズについては、専門家によるマーケティング調査を、首都圏で実施した。分析結果を、30年度以降の事業に活かしていく。
- しずま鮮魚普及事業では、観光コースを山梨県の観光事業者で紹介する事業を実施した結果、観光ツアーの販売が開始された。
- お茶については、各種プロモーション事業により、「お茶のまち」としての認知度が高まっているほか、海外での取扱量も増加している。

平成30年度の主な事業

「まちは劇場」の推進



「まちは劇場」推進事業
(観光交流文化局)【230,190千円】

茶どころ日本一計画の推進



「お茶のまち静岡市」推進事業
(経済局)【26,104千円】

オクシズの地域活性化



オクシズプロモーション事業
(経済局)【10,349千円】

しずま鮮魚の普及・振興



しずま鮮魚普及事業
(経済局)【10,500千円】

平成31年度の取組

- 「まちは劇場」の更なる推進として、これまで取り組んできた事業の継続実施と共に、平成30年度に文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業に採択されたことによるブランド戦略と国際発信力の強化に取り組む。また、CCCではクリエイターによるパフォーミングアーツなど、まちの賑わいの創出を強化する。
- オクシズの伝統や魅力を伝えるオクシズ縁劇祭を開催するとともに、首都圏への情報発信、PRイベント等によるプロモーションの強化を図る。
- 旧安倍6村等において、住民が安心して地域で暮らすことができ、賑わいの創出につながる「オクシズ賑わい拠点」づくりを地域住民等とともに取り組む。その一環として、日常生活に必要な機能を維持するための支援を行う。
- しずま振興では、山梨方面へのプロモーション事業を継続実施。
- 「お茶ツーリズム」について、ガイドブックを通じた情報発信を強化するとともに、積極的に受入れを推進するための体制を整備する。

「まちは劇場」の推進



「まちは劇場」推進事業
(観光交流文化局)【339,260千円】

茶どころ日本一計画の推進



「お茶のまち静岡市」推進事業
(経済局)【29,589千円】

オクシズの地域活性化



オクシズプロモーション事業
(経済局)【8,224千円】

しずま鮮魚の普及・振興



しずま鮮魚普及事業
(経済局)【10,050千円】

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

2 文化都市	人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりの推進
2-①	草薙・東静岡副都心の賑わい創出

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
東静岡地区の賑わいづくりの推進									
1	企画局	企画課	継続	★「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」運営事業	ソフト	56,340	③教育文化	53	49
2	企画局	企画課	新規	★草薙・東静岡副都心グランドデザイン策定事業	ソフト	4,948	③教育文化	54	49
草薙地区の賑わいづくりの推進									
3	企画局	企画課	新規	★草薙・東静岡副都心グランドデザイン策定事業	ソフト	4,948	③教育文化	54	49
4	都市局	清水駅周辺整備課	継続	★草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業	ソフト	6,400	③教育文化	55	106
5	建設局	道路計画課	継続	★JR草薙駅北口周辺交通環境改善事業	ソフト	7,000	③教育文化	56	113
その他									
6	観光交流文化局	日本平動物園	継続	「見方がちがう動物園」NEWデザインプロジェクト	ソフト	3,000			68
7	観光交流文化局	日本平動物園	拡充	日本平動物園開園50周年記念事業	ソフト	47,500		57	68
計						130,136			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額

411,114

2 文化都市 ①草薙・東静岡副都心の賑わい創出

東静岡アート&スポーツ／ヒロバ運営事業

企画局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	56,340				56,340
前年度予算額	56,000				56,000

目的	3次総で「文化・スポーツの殿堂」として位置付けた東静岡地区に開設した「東静岡アート&スポーツ／ヒロバ」において、屋外アートやローラースポーツといった新たな文化・スポーツを市民に広めるとともに、様々なイベントを行うことで、交流人口の増加を図り、地域経済の活性化に繋げる。
----	--

事業概要	<p>1 実行委員会による「東静岡アート&スポーツ／ヒロバ」の運営</p> <p>○施設概要 営業時間/11時～21時 スケートボード、BMX、インラインスケートなどが楽しめるローラースポーツパーク</p> <p>○企画運營業務 26,340千円 ローラースポーツパーク等の運営、イベントの実施 広場維持管理業務 等</p> <p>○レンタル料 30,000千円 ローラースポーツパーク内テントハウス、管理棟 等</p> <p>○実行委員会の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東静岡アート&スポーツ／ヒロバの管理、運営等 ・「まちは劇場の推進」の一環として、敷地一体を活用した様々なイベントを開催し、世代を超えた多様な人々の交流の場を創出 ・芝生広場において、年間を通じて、屋外アートの展示やワークショップを開催 ・ローラースポーツパークでは、大人から子供を対象としたスクールを実施 ・2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた、ローラースポーツの各種大会を開催
------	---



2 文化都市 ①草薙・東静岡副都心の賑わい創出

【新規】

草薙・東静岡副都心グランドデザイン策定事業

企画局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	4,948				4,948
前年度予算額					

目的	副都心としての拠点整備を進めてきた東静岡地区と草薙駅周辺地区を、教育文化の薫りが漂い、多くの若者が集まり、交流が生まれる拠点として一体性を持たせ、更なる賑わい、地域経済の活性化へと繋げる。
----	--

事業概要	<p>草薙・東静岡副都心における教育機関等の集積を最大限に活かしたまちづくりを進めていくため、副都心エリアの都市デザイン策定に着手する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハード事業及び新たなソフト事業の検討 ・既存計画との整合性の整理 ・県が行う公共事業（県立図書館整備）との調整 ・関係団体（大学、商店街等）との協議、情報共有 <p style="text-align: right;">ほか</p>
------	---

草薙・東静岡副都心グランドデザイン策定事業エリア案



2 文化都市 ①草薙・東静岡副都心の賑わい創出

草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (4/10)	市債	その他	
当初予算額	6,400	2,560			3,840
前年度予算額	4,200	1,680			2,520

目的	地元まちづくり組織「一般社団法人草薙カルテッド」が主体となった、多くの若者や地域住民で賑わう魅力と活気に満ちた「教育文化拠点」づくりを推進する。
----	--

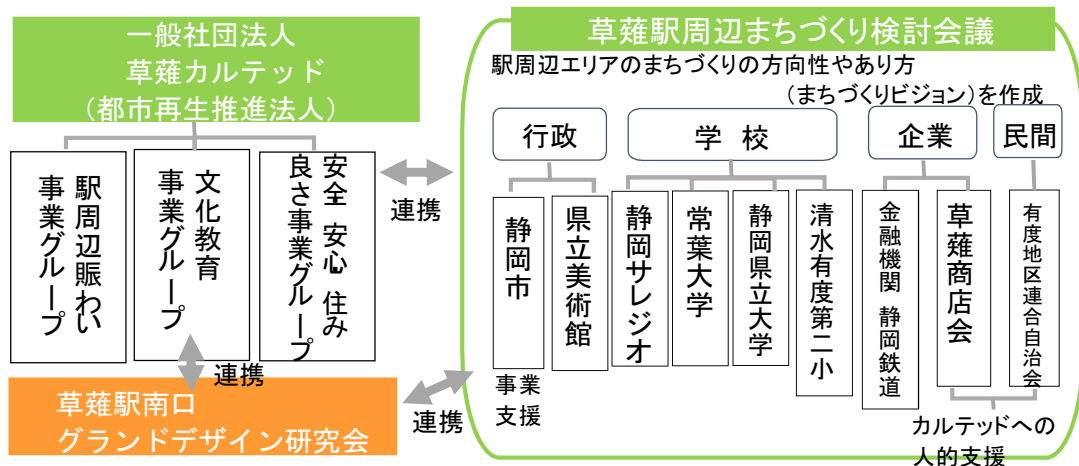
事業概要	<p>○事業内容 「教育文化拠点」の実現を目指し、一般社団法人草薙カルテッドや南口グランドデザイン研究会（自治会、県大、カルテッド、市）との連携により、南口グランドデザインの具体的な取組の実現に向けての検討支援を行う。また、本取組を進めることで、草薙カルテッドの人材育成等を図り、同法人の自立を目指す。</p> <p>○事業期間 平成25年度～2022年度</p> <p>○平成31（2019）年度事業内容</p> <p>①「草薙駅南口メインストリート」利活用検討 ・にぎわい創出空間にするための調査検討</p> <p>②あかり（照明）のまちづくり事業 ・安心安全な照明環境づくりに向けた社会実験の実施</p> <p>③移動しやすい環境づくり ・運行手段、体制等の検討</p>
------	--

目指している姿（産学官民が連携し、多くの若者や地域住民で賑わう教育文化拠点の実現）



- 夜間でも安心して歩ける環境づくり等
- 広場を利用したオープンカフェの実施等

官民連携による事業推進体制



2 文化都市 ①草薙・東静岡副都心の賑わい創出

J R草薙駅北口周辺交通環境改善事業

建設局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (4/10)	市債	その他	
当初予算額	7,000	2,800			4,200
前年度予算額	10,000	4,000			6,000

目的

「文教地区」を目指す草薙地区において、国道1号の横断環境を改善し、通学する児童や学生、地域の住民が徒歩や自転車で安全・快適に生活できる環境を実現することを目的とする。

事業概要

常葉大学・静岡サレジオが立地するJ R草薙駅の北側地区において、駅前広場やアクセス道路等の整備後の周辺道路の利用状況を踏まえ、国道1号の横断対策や周辺道路の安全対策をおこなう。

○平成31（2019）年度の事業内容

- ・北側エリアの利用実態の把握と国道1号の最適な横断方策の具体化に向けた測量・設計

(期待される効果)

- ・安心・安全、回遊性向上という交通環境の改善により草薙ブランドの向上につながる



2 文化都市 ①草薙・東静岡副都心の賑わい創出

【拡充】

日本平動物園開園50周年記念事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	47,500		30,000		17,500
前年度予算額	8,000				8,000

目的	開園50周年を契機に「いのち」の大切さを伝える世界トップクラスの動物園を目指すため、動物園の役割である「種の保存」、「教育・環境教育」、「調査・研究」、「レクリエーション」の4つの分野に磨きをかけ、魅力向上及び来園者の増加を図る。
----	---



事業概要	事業実施期間：2019年4月1日～2020年3月31日（1年間） 開園50周年記念式典：2019年8月1日（木）開園記念日
	1 種の保存 拡充 3,940千円 ○レッサーパンダ繁殖推進及びPR (キャラクター、着ぐるみ作成)
	2 教育・環境教育 新規 33,380千円 ○いのちを伝えるふれあい動物園の拡充 (カピバラ舎整備、カピバラの導入：8月)
	3 調査・研究 新規 357千円 ○国際環境エンリッチメント会議への参加
	4 レクリエーション 拡充 6,420千円 ○開園50周年記念式典 ○特別企画展（春、夏、秋、冬） ○50周年光のイルミネーション ほか
	5 広報強化 3,403千円 ○50周年事業に関する情報発信 ほか



レッサーパンダ繁殖推進・PR (新キャラクター作成) 50周年光のイルミネーション カピバラ舎整備（8月開設）

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

2 文化都市	人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりの推進
2-②	清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
海洋文化の拠点づくりと「みなと」と「まち」が一体となった回遊性の向上									
1	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	海洋文化施設整備推進事業 (海洋文化施設建設事業)	ハード	1,413,930	②海洋文化	59	89
2	経済局	海洋文化都市 推進本部	拡充	清水港開港120周年記念事業	ソフト	45,000	②海洋文化	60	89
3	観光交流文化局 経済局	まちは劇場推進課 海洋文化都市 推進本部	継続	★夜の舞台演出事業(巴川周辺)	ソフト	28,000	②海洋文化 ⑤まちは劇場	73	89
4	経済局	海洋文化都市 推進本部	新規	清水都心地区回遊性向上検討事業	ソフト	6,000	②海洋文化	61	89
5	観光交流文化局	観光・国際交流課	拡充	駿河湾フェリー運航支援事業	ソフト	25,800	②海洋文化	62	59
6	経済局	海洋文化都市 推進本部	新規	マグロの都 清水 推進事業	ソフト	3,000		63	89
7	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	清水港客船誘致事業	ソフト	56,385	②海洋文化	64	90
8	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	海洋文化施設整備推進事業 (海のみらい静岡友の会負担金等)	ソフト	6,000		59	89
9	経済局	海洋文化都市 推進本部 商業労政課	拡充	★外国人観光客誘致促進事業(インバウンド対策)	ソフト	10,161		65	89 95
10	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	清水都心ウォーターフロント活性化推進事業	ソフト	5,000			89
清水中心市街地の賑わいの創出									
11	企画局	アセットマネジメント 推進課	拡充	新清水庁舎建設事業	ハード	20,230	②海洋文化	66	49
その他									
12	環境局	ごみ減量推進課	新規	使い捨てプラスチックからの転換推進事業	ソフト	5,420	②海洋文化	67	70
13	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	清水港海づり公園整備事業	ハード	402,000	②海洋文化	68	90
14	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	清水港港湾整備事業費負担金	ハード	386,967		69	90
15	経済局	産業政策課	新規	★清水港後背地における地域経済の活性化検討 事業	ソフト	15,000		115	90
計						2,428,893			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 989,723

2 文化都市 ②清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進

海洋文化施設整備推進事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	1,419,930		1,297,200		122,730
前年度予算額	48,284				48,284

目的	清水港周辺において、駿河湾の特性や、清水港ならではの産学官の関係者のノウハウ・資源を活かした特色ある海洋文化拠点形成や、その核となる海洋文化施設の整備実現を目指す。
----	--

事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 海洋文化施設用地取得関連経費 1,338,000千円 ○海洋文化施設建設予定地（清水区日の出）の、公有財産購入費及び補償費 海洋文化施設土地関連調査経費 40,000千円 ○海洋文化施設建設予定地の地盤調査及び土壌汚染調査 海洋文化施設PFIアドバイザー業務経費 35,000千円 ○PFI事業者の募集、選定、契約等に係る専門的業務支援 事業者選定審査会外部専門委員謝金など 930千円 ○運営事業者の募集、選定を実施に関する、外部専門委員への委員謝金 海のみらい静岡友の会負担金等 6,000千円 ○海洋研究開発機構（JAMSTEC）との連携事業を中心とした、学民官連携による海洋普及啓発事業の実施
------	--



海洋文化施設建設予定地



【駿河湾の海の水槽】 【海と地球の体験型コンテンツ】
展示計画(イメージ) ※基本計画より



【JAMSTEC本部見学】 【海洋学習事業】
海のみらい静岡友の会の各事業

2 文化都市 ②清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進

【拡充】

清水港開港120周年記念事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	45,000				45,000
前年度予算額	5,000				5,000

目的	<p>清水港ウォーターフロントを中心とした「国際海洋文化都市」の取り組みを一層推進するため、清水港開港120周年記念事業を開催する。また、県と民間とともに連携し、清水港ウォーターフロントエリアの賑わいを創出することにより交流人口の拡大を図る。</p>
----	---

事業概要	<p>「清水港開港120周年記念事業実行委員会」への負担金</p> <p>○清水港開港120周年記念事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間 2019年7月13日(土)～8月4日(日) ※海フェスタしずおか開催期間 ・場所 日の出会場(マリンパーク等) <li style="padding-left: 20px;">江尻会場(マリナート等) ほか ・海フェスタしずおか(船舶寄港等)及び清水港にまつわる静岡のOnly one&No.1フェア(産業フェア)、シンポジウム、次世代モビリティ展示・体験の開催を中心に賑わいを創出。
------	--



清水港開港120周年記念事業ポスター



「海フェスタしずおか」にて海王丸寄港を要請中
 ※平成21年度清水港開港110周年

2 文化都市 ②清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進

【新規】

清水都心地区回遊性向上検討事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3)	市債	その他	
当初予算額	6,000	4,000			2,000
前年度予算額					

目的	海洋文化施設整備などにより、賑わいを創出し、交流人口拡大を目指す日の出地区において、バス停からふ頭内の域内移動の利便性を補うため、グリーンスローモビリティの将来的な民間における導入を目指す。
----	---



事業概要	<p>グリーンスローモビリティの導入可能性調査を実施する。</p> <p>内容：グリーンスローモビリティ展示、運行実験</p> <p>日時：2019年7月13日（土）～8月3日（土） の間の土・日・祝日（8日間）</p> <p>会場：日の出地区（清水港開港120周年記念イベント会場内）</p>
------	---



(参考)

セグウェイ体験試乗（120周年記念事業で実施）



期間：7月13日～7月16日
（120周年イベント開催時）

実施内容：体験乗車

2 文化都市 ②清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進

【拡充】

駿河湾フェリー運航支援事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	25,800				25,800
前年度予算額	2,000				2,000

目的

県と市町、関係団体が連携して駿河湾フェリーを活用した魅力の発信と周遊性を高める取組を実施することにより、駿河湾フェリーの利用促進及び環駿河湾地域の観光振興を図る。また、平成31年度以降も運航を継続するのに必要な当面の措置を行う。

事業概要

- 駿河湾フェリー運航事業負担金 **新規** 17,300千円
 県及び関係3市3町（静岡市、伊豆市、下田市、西伊豆町、南伊豆町、松崎町）が駿河湾フェリーを平成31年4月以降も切れ目なく運航させるため、新たに設立する法人に対し、乗船客数が20万人を下回った場合、船舶の維持管理費（60,000千円）を負担する。
 ※負担割合
 ○県：3市3町＝20,000千円：40,000千円（1：2）
 ○3市3町は40,000千円を経済波及効果割及び人口割で按分
- 環駿河湾観光交流活性化協議会負担金 3,500千円
 駿河湾フェリーを活用した環駿河湾地域の周遊観光を促進することにより、交流人口の拡大及び地域活性化を図る。
- 駿河湾フェリー利用促進事業 **新規** 5,000千円
 市内の全小学生に、フェリー無料乗船券を配布し、利用を促すとともに駿河湾や深海の魅力を発信・啓発する。
 ○期間：6月～9月
 ○対象：市内小学生先着4,000人



2 文化都市 ②清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進

【新規】

マグロの都 清水 推進事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,000				3,000
前年度予算額					

目的	<p>マグロ産業を地域資源と捉え、活用策を「産・学・官」の連携により検討・立案し、交流人口の増加と賑わいを形成することを目的に、清水都心を中心とした「マグロの都 清水」を構築する。</p>
----	--

事業概要	<p>マグロの都構築「産・学・官」連携事業</p> <p>1 産学官による官民組織の設立</p> <p>2 希少部位等を使ったレシピなどの開発、お披露目イベント 3,000千円</p> <p>(お披露目イベント) 期間 2019年7月13日(土)～7月15日(月) (清水港開港120周年記念事業と連携実施) ○清水駅東口広場・清水駅西側エリアでの「レシピのお披露目」 ○清水魚市場との協同による「解体ショー」や「模擬セリ」など</p>
------	---



マグロ水揚げの様子



マグロ冷凍倉庫の様子



マグロ解体ショーの様子

2 文化都市 ②清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進

清水港客船誘致事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	56,385				56,385
前年度予算額	61,620				61,620

目的	清水港に客船や帆船を誘致することにより、賑わいを創出し、市民が憩い親しめる港づくりを推進すると共に地域経済の活性化に寄与する。
----	---

事業概要	<p>清水港への客船誘致活動、寄港歓迎行事及び企画事業等を実施する「清水港客船誘致委員会」への負担金</p> <p>平成31年度(2019年度)客船等寄港予定 (平成30年度:35隻(見込)→平成31年度(2019年度):51隻) (※天候等により変更の可能性あり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「セブンシーズ・マリナー」4/13(初寄港)、4/26 ・「アザマラ・クエスト」4/26(初寄港)、5/10、9/2、9/16 ・「バイキング・オリオン」5/2~5/3(初寄港)、9/8~9/9、10/29~10/30、11/3~11/4 ・「オイローパ2」5/6(初寄港) ・「マースダム」8/1(初寄港)、8/15 ・「マジスティック・プリンセス」8/22(初寄港) ・「ル・ラペルーズ」10/8(初寄港) ・「シルバー・ミュージズ」10/20(初寄港) ・「セレブリティ・ミレニアム」4/11、4/14、10/3、11/7、11/10、11/24 ・「ウエステルダム」4/15、10/14 ・「ダイヤモンド・プリンセス」11/20、12/14 ・「にっぽん丸」5/18、5/21 ・その他、外国客船、国内客船、帆船の寄港予定あり
------	--



写真提供:プリンセスクルーズ



清水港史上最大の記録を4年ぶりに更新する「マジスティック・プリンセス(14万トン)」(左)とこれまでの最大客船記録を有している「ダイヤモンド・プリンセス(11万トン)」(右)



お茶会・着付け体験



港周辺でくつろぐ乗船客



地元小学生と乗船客の交流

2 文化都市 ②清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進

【拡充】

外国人観光客誘致促進事業（インバウンド対策）

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,161				10,161
前年度予算額	9,200				9,200

目的	<p>客船の寄港時に、港と交通結節点を結ぶシャトルバスを運行し、乗船客・乗組員の満足度向上に努め、更なる寄港数の増加につなげる。</p> <p>加えて、清水区の中心市街地において、おもてなしのための受け入れ態勢を強化することで、消費を喚起し地域経済の活性化を図る。</p>
----	--

事業概要	<p>1 客船歓迎事業（シャトルバス運行） 6,930千円 港と清水区内の交通結節点を結ぶルートでシャトルバスを運行。 ○実施時期 客船寄港中（13回→21回） 拡充 ○運航間隔 概ね20分間隔（バス3台） ○乗車料金 無料</p> <p>2 商店街の外国人観光客対応促進事業 3,231千円 清水地区の中心市街地において外国人観光客を受け入れるため、おもてなしやコンテンツの強化を図り、インバウンド需要の取り込みを促進。 ○商業者向けインバウンドセミナー開催 ○店舗へのアドバイザー派遣 ○入港時受入態勢整備支援（ツール作成等）</p>
------	--



シャトルバス



清水駅前銀座商店街での受入れの様子

2 文化都市 ②清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進

【拡充】

新清水庁舎建設事業

企画局

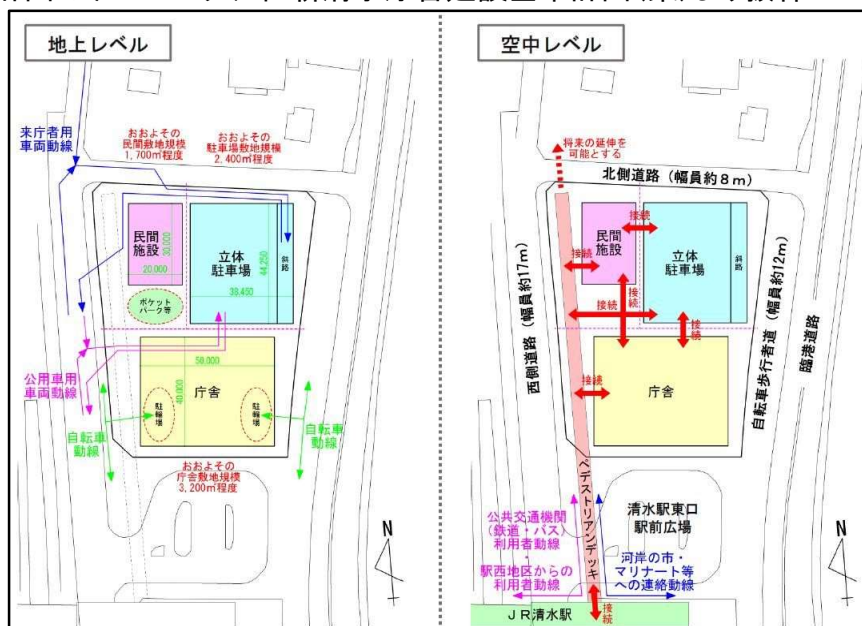
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	20,230				20,230
前年度予算額	61,342				61,342

目的	発災時にも業務の継続ができ、JR清水駅周辺に賑わいを創出する新たな清水庁舎を建設する。
----	---

事業概要	<p>建設・防災・まちづくり等の各分野の有識者で組織される審査会を設置し、整備事業者を選定する。また、JR清水駅と新清水庁舎を接続するペDESTリアンデッキの予備設計を実施する。</p> <p>1 新清水庁舎整備事業者選定委員会の設置・運営 新規 590千円 ○委員 5名程度 ○全5回開催(予定)</p> <p>2 ペDESTリアンデッキ予備設計の実施 新規 19,000千円 ○橋脚の位置、本数、施設接続箇所、幅員等の検討</p> <p>3 その他事務経費 640千円 ○職員旅費 等</p> <p>※新清水庁舎スケジュール 2020年度整備事業者決定、2022年度施設完成・供用開始</p>
------	---

●配置計画のケーススタディ:新清水庁舎建設基本計画(案)より抜粋



2 文化都市 ②清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進

【新規】

使い捨てプラスチックからの転換推進事業

環境局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,420				5,420
前年度予算額					

目的	海洋ごみ問題などを広く伝えることで、使い捨てプラスチック削減に対する市民意識の高揚を図る。また、当該イベントに関して積極的な広報活動を実施し、「使い捨てプラスチック問題に積極的に取り組む静岡市」の都市ブランドの確立を目指す。
----	--

事業概要	<p>1 清水マリパークにおける啓発イベント 4,491千円</p> <p>日 程 6月29日(土)・30日(日)10時~16時(予定)</p> <p>場 所 清水マリパークやすらぎ広場</p> <p>対 象 海洋ごみ問題に関心のある人をはじめとする幅広い年齢層の来場者</p> <p>内 容 海洋ごみ問題をテーマとしたタレントによるステージ プラスチック代替製品の配布 など</p>
	<p>2 イオン清水店における啓発イベント 929千円</p> <p>日 程 8月17日(土)10時~13時(予定)</p> <p>場 所 イオン清水店</p> <p>対 象 市内外から訪れる家族連れ</p> <p>内 容 海洋ごみ問題と駿河湾の海の魅力を伝えるパネル展 など</p> <p>使い捨てプラスチックからの転換を図るため、「知る」から「やってみる」への行動喚起を促し、使い捨てプラスチック代替製品を受け入れやすい環境づくりに向けた普及啓発を行う。</p>



2 文化都市 ②清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進

清水港海づり公園整備事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	402,000		301,500	100,500	
前年度予算額	322,000		241,500	80,500	

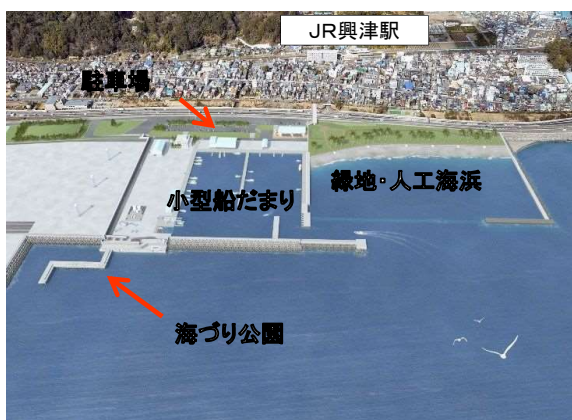
目的	清水港海づり公園を再建し市民へ水辺の憩いの場を提供する。 また、県と連携し整備を進めている（仮称）新興津ビーチパークの拠点とすることで、新たな賑わい空間を創造し、清水港全体の活性化を推進する。
----	---



事業概要	<p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎工事 248,000千円 ・上部（栈橋）工事 154,000千円 （栈橋部鋼杭工など） <p>○建設予定地 新興津地区</p> <p>○規模 海づり施設 150m程度 公園施設 0.2ha程度</p> <p>○年間計画入場者数 2万人</p> <p>○暫定供用開始 平成34年（2022年）度（予定）</p>
------	---

（仮称）新興津ビーチパーク
（将来計画図）

清水港海づり公園イメージパース図



2 文化都市 ②清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進

清水港港湾整備事業費負担金

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	386,967		337,800		49,167
前年度予算額	324,363		291,200		33,163

目的	清水港港湾施設等の整備促進により物流機能の高度化及び市民が憩える港づくりを図る。
----	--

事業概要	<p>国及び県が実施する清水港港湾整備に対して「静岡県建設事業等市町負担金徴収条例」に基づき、港湾所在市負担金を支出する。</p> <p>1 国直轄事業 96,600千円 ○日の出岸壁改良 ほか</p> <p>2 県交付金事業 285,470千円 ○新興津地区人工海浜・緑地整備 ほか</p> <p>3 県単独事業 4,897千円 ○港湾施設改良 ほか</p>
------	--



日の出岸壁改良



新興津地区人工海浜・緑地整備

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

2 文化都市	人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりの推進
2-③	「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
「まちは劇場」の推進									
1	観光交流文化局	まちは劇場推進課	新規	「まちは劇場」推進事業	ソフト	44,460	⑤まちは劇場	72	64
2	観光交流文化局 経済局	まちは劇場推進課 海洋文化都市 推進本部	拡充	★夜の舞台演出事業 (駿府城公園、日本平、巴川周辺)	ソフト	51,400	⑤まちは劇場	73	61 64 89
3	観光交流文化局	まちは劇場推進課 スポーツ交流課	拡充	賑わい創出イベント	ソフト	219,600	⑤まちは劇場	74 75	64.65 66.67
4	経済局 都市局	商業労政課 都市計画課	継続	★(都)北街道線魅力空間創出事業	ソフト	5,100	⑤まちは劇場	171	95 104
5	観光交流文化局	まちは劇場推進課	拡充	市民参加型舞台公演事業	ソフト	14,000	⑤まちは劇場	76	64
6	経済局	産業政策課	拡充	CCC(文化・クリエイティブ産業振興センター)管理 運営事業	ソフト	85,030	⑤まちは劇場	77	91
7	観光交流文化局	まちは劇場推進課	拡充	まち劇スポット運営事業	ソフト	3,100	⑤まちは劇場	78	65
8	企画局	企画課	継続	★東静岡アート&スポーツ/ヒロバ運営事業	ソフト	56,340	③教育文化	53	49
9	都市局	緑地政策課	継続	★静岡市都市公園Park-PFI制度活用事業	ソフト	5,000	⑤まちは劇場	79	106
10	観光交流文化局	まちは劇場推進課	継続	まちは劇場コンサート事業	ソフト	34,700	⑤まちは劇場	80	65
11	観光交流文化局	スポーツ交流課	継続	★清水エスパルス応援機運醸成事業	ソフト	12,000		106	67
12	観光交流文化局	スポーツ交流課	拡充	★野球を活かしたまちづくり推進事業	ソフト	12,437		107	68
13	経済局	商業労政課	継続	★プレミアムフライデー推進事業	ソフト	19,400	⑤まちは劇場	95	95
「オクシズ」地域おこし条例に基づく地域活性化									
14	経済局	中山間地振興課	継続	★南アルプス登山道整備事業	ハード	7,000		209	103
15	経済局	中山間地振興課	継続	おもてなし環境整備事業	ハード	24,000			103
16	経済局	中山間地振興課	継続	★地域おこし協力隊配置事業	ソフト	34,222		81	103
17	経済局	中山間地振興課	継続	★オクシズ農林漁家民宿開業費助成	ソフト	1,200			102
18	経済局	中山間地振興課	拡充	オクシズ「漆-japan-の里」構想事業	ソフト	2,500		82	102
19	経済局	中山間地振興課	継続	清水森林公園みおくり橋整備	ハード	49,000			103
20	経済局	中山間地振興課	拡充	オクシズの森林整備事業、静岡地域材活用促進 事業	ソフト	107,093		83	101

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
21	経済局	中山間地振興課	新規	オクシズATM設置費助成	ソフト	19,104		84	103
22	経済局	中山間地振興課	継続	オクシズプロモーション事業	ソフト	8,224		85	102
「しずまえ」鮮魚の普及・振興									
23	経済局	水産漁港課	継続	しずまえ鮮魚普及事業	ソフト	10,050		86	100
24	経済局	水産漁港課	継続	水産業振興藻場成育環境調査事業	ハード	900			100
茶どころ日本一計画の推進									
25	経済局	農業政策課	継続	静岡市お茶の学校 (★「静岡シテズンカレッジこ・こ・に」推進事業)	ソフト	528	③教育文化	214	52
26	経済局	農業政策課	拡充	「お茶のまち静岡市」推進事業	ソフト	29,589		87	97
その他									
27	経済局	農業政策課	拡充	「静岡水わさびの伝統栽培」世界農業遺産事業	ソフト	1,129			97
28	経済局	中山間地振興課	継続	森林認証促進事業	ソフト	1,750			102
計						858,856			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 765,758

2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまえの振興

【新規】

「まちは劇場」推進事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2以内)	市債	その他	
当初予算額	44,460	37,967			6,493
前年度予算額					

目的

本市で開催される大道芸等複数のフェスティバルをパッケージ化して、フェスティバルが都市のシンボルとなるようなブランド戦略を展開する。また、国際発信力の強化を図り、世界に発信することで、「フェスティバル・シティ静岡」の実現を目指す。

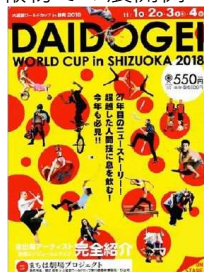
事業概要

- 1 ブランディング事業 21,224千円
本市を世界で認知させるためのブランディングを実施
○本市がフェスティバルによって「魅力的な都市」であることを伝えるためのWEB・SNSを活用したプロモーションの展開
○フェスにおける統一タグライン (ON STAGE SHIZUOKA : 下記) によるまちなかへの展開 (ポスター、のぼり等)
- 2 評価システム構築事業 9,026千円
文化芸術事業がもたらす経済的・社会的影響やその効果を分析し、官民双方からの持続的な文化芸術への投資を引き出すための仕組みを構築
- 3 国際文化交流事業 13,000千円
○大道芸国際プロモーション
大道芸を素材にした映像制作とHP等による世界への情報発信
○釜山市とのフェスティバル交流
・釜山市のフェスティバル関係者やアーティストを大道芸ワールドカップ等の国内フェスティバルに招聘
・国内の大道芸アーティストを朝鮮通信使まつり等の釜山市で開催されるフェスティバルに派遣
○国際文化交流シンポジウム
世界の国々との国際文化交流を目指したシンポジウムを開催
- 4 「まちは劇場」推進のための体制整備 1,210千円
○(仮称) まち劇意識向上研修会
○(仮称) フェスティバル・シズオカ推進会議
○(仮称) 国際文化芸術発信拠点形成推進会議

まちなかの展開例



広報物での展開例



統一タグライン「ON STAGE SHIZUOKA」をデザインしたロゴマーク



2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

【拡充】

夜の舞台演出事業

観光交流文化局、経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2以内)	市債	その他	
当初予算額	51,400	10,500			40,900
前年度予算額	32,500				32,500

目的	夜の舞台創出関連事業において「まちは劇場」の生み出す価値を付加し、賑わいの創出・消費拡大・仕掛けづくり、空間（場）づくりを演出する。
----	--



事業概要	<p>駿府城公園、日本平及び清水都心ウォーターフロントにおいて実施する各イベントが相互に連携し、一体的な夜のエンターテイメント事業として、ライトアップや音楽パフォーマンス等を実施</p> <p>1 ナイトエンターテイメント (仮称)「駿府灯り回廊」事業 新規 15,000千円 ○概要 駿府城公園内ライトアップ&パフォーマンス ○時期 2019年8月</p> <p>2 日本平ナイトツーリズム推進事業 新規 8,400千円 ○概要 夜景サミット2019の開催 日本平夢テラス(回廊)光&音の演出(10月～) 路線バスの夜間試験運行 ○時期 2019年10月</p> <p>3 清水都心ウォーターフロント活性化推進事業 28,000千円 (光の景観まちづくり) ○概要 巴川周辺・清水港線跡遊歩道イルミ&ライトアップ ○時期 2019年10月～2020年2月</p>
------	--



※駿府灯り回廊イメージ
(博多ライトアップウォーク)



巴ノヒカリ



日本夜景遺産に登録された日本平山頂からの夜景

2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

【拡充】

賑わい創出イベント

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2以内)	市債	その他	
当初予算額	219,600	150,715			68,885
前年度予算額	155,880				155,880

目的	多くの市民が参加するイベントを開催し本市の文化的な魅力を増進させ、賑わいを創出する。また、幅広く情報発信することで、国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまちなの実現を目指す。
----	---



事業概要	～春～	
	1 ストレンジシード	27,720千円
	ゴールデンウィーク中の駿府城公園及びその周辺市街地を舞台に開催する、演劇・ダンスを中心としたパフォーミングアーツイベント (出演者数) 2018年度：16組 (国内) 2019年度：29組※予定 (国外・国内) 拡充	
	○時期	2019年5月3日(金・祝)～6日(月・祝)
	○会場	駿府城公園及び周辺中心市街地
	2 ふじのくにせかい演劇祭	46,000千円
毎年春に開催される世界の最先端の演劇作品を集めた演劇祭 ○時期 2019年4月27日(土)～5月6日(月・祝) ○会場 駿府城公園、静岡芸術劇場 外		
3 シズオカ×カンヌウィーク (第10回記念)	5,700千円	
姉妹都市であるカンヌ市で開催されるカンヌ国際映画祭にあわせ、野外映画祭、マルシェ等のイベントを実施 ○2019年4月27日(土) 会場：用宗海岸 新規 5月11日(土) 会場：登呂遺跡 5月18日(土)、19日(日) 会場：七間町 5月25日(土)、26日(日) 会場：清水マリナーパーク		
4 シズオカ・サンバカーニバル	4,000千円	
国際色豊かなサンバカーニバルチームによるパレード、ステージショー等のイベントを実施 ○時期 2019年5月3日、4日(予定) ○会場 七間町通り、呉服町通り、青葉シンボルロード		
5 しずおかフェア (仮称：今川復権まつりと連携)	8,000千円	
静岡市の豊富な地場産品を観光資源として、市内外に発信 ○時期 2019年5月3日(金・祝)～6日(月・祝) ○会場 駿府城公園及び青葉シンボルロード		

ストレンジシード

撮影.M. Hirao



シズオカ・サンバカーニバル



シズオカ×カンヌウィーク

2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

賑わい創出イベント

観光交流文化局

(千円)

事業概要	～夏～
	6 ナイトエンターテイメント (仮称)「駿府灯り回廊」事業(再掲) 新規 15,000千円 ○概要 駿府城公園内ライトアップ&パフォーマンス ○時期 2019年8月
	～秋～
	7 大道芸ワールドカップin静岡2019 107,180千円 大道芸を中心としたパフォーミングアーツのイベントを通じて、本市の文化的な魅力を国内外に幅広く情報発信する本市最大級のイベント ○時期 2019年11月1日(金)～11月4日(月祝) ○会場 駿府城公園、静岡市民文化会館、市街地各所
	8 東静岡アートプロジェクト 15,000千円 美術館等市内文化施設や民間ギャラリーなどと連携し、ヒロバを中心とした気軽に現代アートに触れることができる企画展を開催 ○時期 2019年10～11月頃(3週間程度) ○会場 東静岡アート&スポーツ/ヒロバ、静岡市美術館、静岡県立美術館外(予定) ○内容 現代アート企画展 野点(のたて)アーティストによるパフォーマンス等 新規
	9 富士山コスプレ世界大会 5,000千円 コスプレイヤーの表現の場を提供するイベントを通じて、本市の文化的な魅力を幅広く情報発信 ○時期 2019年11月16日(土)、17日(日) ○会場 清水駅前銀座商店街、エスパルスドリームプラザ 外
	10 静岡市サッカー祭り 新規 1,000千円 フリースタイルフットボールのコンテストを中心に、サッカーをテーマとしたイベントを開催し、新たなサッカーの魅力を発信 ○時期 2019年11月10日(日)(予定)
	～冬～
	11 (仮称)TGCしずおか 2020 for SDGs TGCしずおか連携事業(再掲) 49,500千円
	※ 再掲は、事業費に集計していません。 ※ 掲載のイベントは、統一的なブランディングを実施していくイベントです。

大道芸ワールドカップin静岡



めぐりりアート静岡



静岡市サッカー祭り



作家名.石上和弘
作品名.道の作り方

2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

【拡充】

市民参加型舞台公演事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2以内)	市債	その他	
当初予算額	14,000	6,340			7,660
前年度予算額	8,300				8,300

目的

年齢や障害の有無を超えて、あらゆる人々が文化芸術活動に参加・交流できる環境を整備し、舞台芸術を通じた「生きがい」の創出とQOLを向上させ、人口活力を増進させる。

事業概要

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に、市内の健常者と障がい者が共に同じ舞台に立つ公演の開催に向けた環境を整備

1 演劇ワークショップ

演劇スキルアップ講座、稽古型のワークショップ等により舞台表現力の向上を図り、成果発表としてミニ公演を開催

- ・健常者クラス 20人程度
- ・障がい者クラス 10人程度
- ・発表公演 2019年10月（静岡市民文化会館 中ホール）

2 2020年市民参加型バリアフリー公演開催準備 新規

オリパラを題材にした静岡市オリジナル作品を制作

○プレ公演

- ・開催時期 2019年10月（予定）
- ・会場 静岡市民文化会館 中ホール

○2020年バリアフリー公演準備

（※本番公演 2020年8～9月頃 静岡市民文化会館で開催予定）

障がい者ダンスチーム・ハンドルズ 静岡公演

（平成31年1月 静岡市民文化会館）



写真： 原賀 琢也



写真： 原賀 琢也

2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

【拡充】

CCC(文化・クリエイティブ産業振興センター)管理運営事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	85,030			252	84,778
前年度予算額	80,744			334	80,410

目的	静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター（CCC）を拠点として、産業の振興を図るとともに、「まちは劇場」プロジェクトと連携した賑わいづくりを進める。
----	---

事業概要	<p>文化・クリエイティブ産業の振興と、「まちは劇場」プロジェクトと連携した賑わいの創出を図る事業を実施</p> <p>CCCの管理運営（指定管理）</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新ものづくりプロジェクト （メーカー、クリエイター、バイヤーによる新商品開発） ・「まちは劇場」プロジェクトと連動した、「七間町ハブニング」などのパフォーマンスアーツ等の実施 ・一流クリエイター等による展示会、セミナーの実施 など
------	--



新ものづくりプロジェクト



「まちは劇場」パフォーマンスアーツ



一流クリエイター等による展示会



一流クリエイター等によるセミナー

2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

【拡充】

まち劇スポット運営事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2以内)	市債	その他	
当初予算額	3,100	1,431			1,669
前年度予算額	5,208				5,208

目的

「まち」の様々な空間において、大道芸・ダンス・音楽・アートなど様々なジャンルの文化に触れる機会、アーティストと市民が会う機会を数多く提供するためのパフォーマンス環境を整備する。

事業概要

市内の公共空間を「まち劇スポット」として指定し、ライセンスを所有するパフォーマーに開放

○スポット指定数

8箇所 → 10箇所 (予定)

拡充

・H30指定場所

青葉イベント広場、静岡駅北口地下広場、けやき通り、札の辻、七間町通り、青葉シンボルロード、常磐公園、清水駅前銀座アーケード

・H31新規指定場所

呉服町通り、両替町通り (予定)

○ライセンス審査会 (年2回)

1次選考 (書類)

2次選考 (公開オーディション)

ライセンス発行

平成30年度の様子



はち君@静岡駅北口地下広場



ポール@静岡駅北口地下広場

2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進

静岡市都市公園Park-PFI制度活用事業

都市局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	5,000	2,500			2,500
前年度予算額	5,000	2,500			2,500

目的	<p>Park-PFI制度(公募設置管理制度)とは、民間事業者の資金やノウハウを活用する新たな公園活用・整備手法である。この活用計画により、民間事業者と行政が一体で公園活用事業に取り組むことで公園の魅力がより向上し、更に公園再整備費と維持管理運営費のコスト縮減を図り、以って、市民サービスの向上や人口減少の抑制に寄与する。</p>
----	---



事業概要	<p>○公園施設設置公募支援業務 5,000千円</p> <p>都市公園におけるPark-PFI事業の公募のための収益施設や特定公園施設の配置、規模の整理や検討を行う。</p> <p>平成31(2019)年度事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象地の調査 ・設置条件の整理(現状把握、敷地分析、インフラ状況調査) ・民間活力導入施設検討(カフェ、子育て支援施設等) ・設置基準の作成(公募要項、基本協定、資料集、様式集) ・公募条件設定のためのサウンディング調査 ・既存施設撤去、敷地整備費算出、設計(測量業務含む)
------	---

【Park-PFI制度の活用イメージ】



2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまえの振興

まちは劇場コンサート事業

観光交流文化局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	34,700				34,700
前年度予算額	34,700				34,700

目的

市内で活動しているオーケストラ等と連携し、学校訪問コンサートやオープンスペースでのコンサートを行い、音楽文化を通じてまちを活性化させることにより、「まちは劇場」を推進する。

事業概要

- 1 まちかどコンサート
 まちなかや身近なオープンスペースで、生演奏を気軽に鑑賞する機会を提供
 ○実施回数 年48回（アンサンブル月4回×12ヶ月）
 ○会場 静岡駅北口地下広場、新静岡セノバ、静岡市上下水道局庁舎、清水駅前銀座商店街 等
- 2 学校訪問コンサート
 オーケストラが市内公立小中学校、特別支援学校を訪問し、生演奏を気軽に鑑賞できる機会を提供
 ○実施回数 14回
 ○対象 市内小中学校（12回）、特別支援学校（2回）
- 3 親子コンサート
 乳幼児が入場可能なコンサートを開催し、子育て中の親子が気軽に音楽を楽しむことができる機会を提供
 ○実施回数 年4回
 ○実施場所 静岡市民文化会館、静岡市清水文化会館、静岡音楽館AOI



学校訪問コンサート



まちかどコンサート

2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

地域おこし協力隊配置事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	34,222				34,222
前年度予算額	40,344				40,344

目的	3大都市圏の住民等を地域おこし協力隊員としてオクシズに受け入れ、地域の活性化を支援するとともに定住・定着を図る。
----	--

事業概要	<p>地域おこし協力隊員の活動にかかる支援を継続しつつ、新たに1名の隊員を配置する。また、任期終了を迎える隊員の起業や住宅改修にかかる費用の一部を助成し、地域への定住を図る。</p> <p>1 募集事業・受入体制整備 共同募集イベント参加、募集広告の掲載 等 2,000千円</p> <p>2 地域おこし活動支援事業 隊員が実施する地域協力活動の支援 30,722千円</p> <p>3 定住支援事業 任期終了を迎える隊員の起業、定住用住宅の改修にかかる費用の助成 1,500千円</p>
------	--



井川メンパの製造技術を学ぶ隊員



共同募集イベント出展の様子



※ 特別交付税措置の対象として、原則として、転入地の地方自治体は、隊員がこれらで一定期間(2年以上)地域おこし協力隊として活動し、かつ、解雇から1年以内であることを解雇状態により確認できた場合に限りとする

2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

【拡充】

オクシズ「漆—japan—の里」構想事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	2,500				2,500
前年度予算額	1,487				1,487

目的	漆の育樹、採取、加工を生業とする「オクシズ漆の里」を創設し、雇用増、人口増対策に資するための取り組みを実施する。
----	--



事業概要	<p>1 「漆の里協議会」に対する負担金 2,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シンポジウムの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・二戸市ほか漆生産の先進地からキーマンを招聘 ○漆掻き技術の映像記録化 拡充 ○林業家と連携した試験植樹 拡充 ○研究機関と連携した苗木の生産
------	---



オクシズ森林の景観維持



静岡の宝(文化財)の継承



人材の育成 →移住定住促進

2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまえの振興

【拡充】

オクシズの森林整備事業、静岡地域材活用促進事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	107,093			70,000	37,093
前年度予算額	94,267			94,267	

目的	成熟した広大な森林の整備と都市部での木材利用の両輪で木を使う文化を継承、拡大し、適切な森林整備を図る。
----	---

事業概要	1 オクシズの森林整備事業	15,093千円
	○オクシズの森林整備 新規	8,726千円
	・森林経営管理法に基づく手入れの行き届いていない森林の整備	
	○オクシズの森林安全対策事業 新規	600千円
	・伐木・搬出作業等において安全に作業できる技術を習得するために必要な資格取得に関する補助	
	○オクシズの森林体感！事業 拡充	5,767千円
	・小学校等におけるICTを用いた林業出張教室等の開催	
	2 静岡地域材活用促進事業	92,000千円
	○柱100本プレゼント事業	70,000千円
	・市産材を活用する住宅の建築主へ構造材・内装材を提供	
	○公共・公益的施設への木材提供事業	18,000千円
	・市産材を活用する公共・公益的施設の建築主へ構造材・内装材を提供	
	○商業施設への木材提供事業 新規	4,000千円
	・市産材を活用する商業施設の建築主へ構造材・内装材を提供	



手入れの行き届いていない森林の整備



ICTを用いた林業出張教室



オクシズ材（市産材）の利用促進

2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまえの振興

【新規】

オクシズ A T M 設置費助成

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	19,104				19,104
前年度予算額					

目的	旧安倍6村における日常生活に必要な金融機能を維持確保し、地域住民が安心して暮らし続けられる地域づくりを推進する。
----	--

事業概要	<p>人口減少、少子高齢化が進むオクシズ地域で、特にその傾向が顕著な旧安倍6村と両河内地区において、住民の日常生活に必要な機能（医療、福祉、買物、交通、金融等）を各中心集落に維持確保する仕組みづくりを今後進めていく。</p> <p>その取組の一環として、住民と密接な関係にある J A との連携を進めるとともに、店舗再編により統合される旧安倍6村の金融機能を維持するための A T M 設置に対して費用の一部を補助する。</p> <p>○対象者 J A 静岡市 ○補助対象 旧安倍6村に新設する A T M の設置に係る費用 ○補助率 8 / 1 0</p>
------	---



2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまえの振興

オクシズプロモーション事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	8,224				8,224
前年度予算額	10,349				10,349

目的	オクシズの魅力発信事業を行い、交流人口及び定住人口の増加を図る。
----	----------------------------------

事業概要	<p>「オクシズ」の地域資源を活用し、「オクシズ」地域への誘客のため、各種事業を実施する。</p> <p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オクシズホームページによる情報発信 ・オクシズガイドマップなどの配布や雑誌等への広告 ・県外イベントへの出展によるPR強化 ・ファミリー層をターゲットにした市営温泉PR ・オクシズ縁劇祭in静岡浅間神社の開催（10月） ・島田市、川根本町と連携した誘客促進
------	---



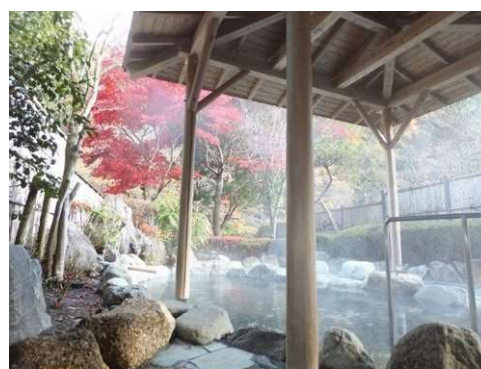
オクシズホームページによる情報発信



オクシズ・マルシェ



オクシズ縁劇祭（SPACとの連携）



ファミリー層向け市営温泉PR

2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまえの振興

しずまえ鮮魚普及事業 経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,050				10,050
前年度予算額	10,500				10,500

目的	しずまえで水揚げされる水産物等の普及を通して、しずまえを地域ブランドとして確立し、本市食文化の全国への発信と水産業をはじめとする地域の活性化を図る。また、駿河湾中西部4市1町によりプロモーション事業を展開し、観光客の誘致を図る。
----	--



事業概要	<p>しずまえエリアへの誘客、しずまえの水産物等の消費拡大のため、各種事業を実施する。</p> <p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しずまえメニュー取扱店開拓事業（新規） ・しずまえおさかな処マップ関連事業（通年） ・しずまえ料理教室補助金（随時） ・しずまえ水産物等へのしずまえシール貼付事業（通年） ・しずまえ新聞・情報紙の発行（6、11月） ・しずまえ漁業見学ツアーの実施（8月） ・しずまえ・オクシズまつりの開催（10月） ・駿河ブルーライン新商品パッケージ開発事業（7月） ・山梨方面プロモーション事業（6～9月）
------	--



(しずまえメニュー関連事業)



(しずまえ料理教室)



(しずまえシール貼付事業)



(しずまえ・オクシズまつり)



(しずまえ新聞の発行)



(山梨方面プロモーション)

2 文化都市 ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまえの振興

【拡充】

「お茶のまち静岡市」推進事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	29,589				29,589
前年度予算額	26,104				26,104

目的	「お茶のまち静岡市」として積極的な情報発信を市内外に展開し、「お茶のまち静岡市」としてのブランド力の強化と「静岡市のお茶」の需要拡大を図る。
----	--

事業概要	<ol style="list-style-type: none"> お茶ツーリズム推進事業 拡充 3,000千円 来静者受入れに積極的な茶農家・茶商等と連携しお茶ツーリズムを推進。受入れ調整機能をもつ「お茶ツーリズムコンシェルジュ」を新たに導入。 JR静岡駅情報発信事業 4,669千円 JR静岡駅構内のラッピング等で「お茶のまち」としてのイメージを強化。 ラッピングタクシー導入助成 11,400千円 「お茶のまち静岡市」ラッピングユニバーサルデザインタクシーの導入と乗務員講習の実施により、来静者への「静岡市流」おもてなしを強化。 首都圏プロモーション事業 3,507千円 首都圏における「お茶のまち静岡市」の認知度を高め、「静岡市のお茶」の販路拡大を図るため、茶業者と連携によるプロモーションを実施。 海外プロモーション事業（ミラノ・ベルリン） 7,013千円 海外における「お茶のまち静岡市」の認知度を高め、「静岡市のお茶」の販路拡大を図るため、輸出に取り組む茶業者等と連携したプロモーションを実施。
------	---

「静岡市茶どころ日本一計画」～世界中のだれもがあこがれるお茶のまちへ～

「お茶のまち静岡市」のブランディング

イメージ戦略

◆ ツーリズムの推進



◆ JR静岡駅からの情報発信



◆ 首都圏プロモーション



◆ ラッピングUDタクシー導入



◆ 海外プロモーション



中枢都市

<プロジェクトの目標>

住む人には**愛着と誇り**が生まれ
訪れる人は**憧れ**を抱き
世界中から多くの人が集まるま
ちづくりの推進



<成果目標>

「これからも静岡市に住み続けたい」と思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 92%(H27) → **95%(H34)**【88%(H29)】

「求心力が強く、世界中から人が集まるまち」だと思っている市民の割合(市民意識調査)

そう思う 20%(H26) → **70%(H34)**【16%(H29)】

①首都圏からの移住・定住の促進

企画局、保健福祉長寿局、経済局、都市局、教育局

実現すべき将来像

○平成37年(2025年)の本市の総人口 70万人維持に向け、「社会減」を「社会増」へ。

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 移住支援センターの運営(18,186千円)では、セミナー等を含めた相談件数が658件776名、センター経由の移住者が37件88名となり、前年の544件707名、29件52名に比べて増加した。さらなる移住者増に向け、新規相談者を増やしていく必要がある。
- 新幹線通学費貸与事業(84,240千円)では、進学者を除く平成29年度末卒業生49名のうち、地元就職者が30名であり、地元就職率が61.2%であった。(首都圏等に進学した学生の県内Uターン就職率は40%)

平成30年度の主な事業

移住促進に向けた支援策の推進



テレワーカー移住促進事業
(企画局)【1,251千円】



おもてなしパスポート事業
(企画局)【2,000千円】



移住体験ツアー運営事業
(企画局)【5,318千円】

UIJターン就職の促進に向けた取組



新幹線通学費貸与事業
(企画局)【72,481千円】



奨学金貸付事業
(教育局)【51,420千円】



就活よろず支援体制強化事業
(経済局)【32,405千円】

平成31年度の取組

- 「移住促進に向けた支援策」については、これまで実績を上げている事業を核として、局間連携を強化しながら推進する。
- 静岡市移住支援センター運営事業では、各局及び本市移住コンシェルジュと連携して、中山間地域移住促進事業や空き家バンク活用事業等の本市施策や移住関連情報を集約し、移住相談者の希望に沿った情報提供を行うことで、移住者の着実な増加を図る。
- 奨学金貸付事業では、利用者の静岡市への定住を促進するための返還免除制度をさらに周知するとともに、商工会議所等と連携して地元企業の情報を提供する。
- 市内企業の情報が行き届いていない若者に対する課題解決策として、静岡商工会議所と連携し、引き続き若者の企業研究機会創出の取組を推進する。また、高校生など早い段階から市内企業との交流を通し、将来の自分を考える機会を創る高校生向けキャリア形成事業の取組を強化する。

移住促進に向けた支援策の推進



静岡市移住支援センター運営事業
(企画局)【18,372千円】



中山間地移住促進事業
(経済局)【13,000千円】

UIJターン就職の促進に向けた取組



新幹線通学費貸与事業
(企画局)【67,450千円】



奨学金貸付事業
(教育局)【65,076千円】



地元就職・UIJターン就職促進事業
(経済局)【14,184千円】

② MICEの推進等による交流人口の拡大

観光交流文化局、総務局、経済局、都市局

実現すべき将来像

○富士山世界遺産登録やH29年中部横断自動車道開通、オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ開催などのチャンスと、本市の世界に誇る地域資源を結びつけることで、本市の魅力発信と戦略的なMICE誘致の推進による交流人口の拡大

平成29年度の主な事業の評価と検証

- DMOについては「Learn(学び)」、「Tea(お茶)」、「Sea(うみ)」の3つをテーマとした体験プログラムの開発による目的地ブランディングについて5市2町で合意した。
- 日本平公園整備事業では、展望回廊設置工事及び周辺造園工事に着手した。
- 2020東京オリパラ合宿等誘致事業では、台湾陸上協会及びスペインバドミントン連盟と2020年東京オリパラ事前合宿に係る覚書を締結した。

平成30年度の主な事業

広域連携による観光誘客の推進



地域連携DMO推進事業
(観光交流文化局)【130,000千円】

訪日教育旅行の誘致



訪日教育旅行誘致推進事業
(観光交流文化局)【6,687千円】

オリパラ等世界的イベントの活用



オリンピック・パラリンピック合宿等誘致事業
(観光交流文化局)【32,169千円】

誘客施設の整備



日本平公園整備事業
(都市局)【364,000千円】

平成31年度の取組

- DMOでは「Learn(学び)」をテーマとした体験プログラムの磨き上げとテスト販売を行うとともに、ウェブサイトやSNSを活用したプロモーションの実施により観光目的地認知率の向上を図る。
- デスティネーションキャンペーンではプレキャンペーン時に造成した旅行素材の改善を行うとともに、新たな観光素材を売り込む商品企画とセールスを行い、継続的に来訪者が訪れる仕組みの構築を図る。
- フランス・カンヌ市との姉妹都市交流を活かしたMICE誘致に向けて、2022年日仏自治体交流会議の誘致に取り組む。
- 日本平公園整備事業では、園路広場・駐車場整備及びアクセス道路整備、バリアフリー動線整備を実施する。
- オリパラ等世界的イベントの活用として、ラグビーイタリア代表の合宿等を受け入れるほか、交流事業に取り組む。

広域連携による観光誘客の推進



地域連携DMO推進事業
(観光交流文化局)【130,000千円】

誘客施設の整備



日本平公園整備事業
(都市局)【319,000千円】

オリパラ等世界的イベントの活用



ラグビーワールドカップ2019合宿等誘致事業
(観光交流文化局)【42,000千円】

③ 戦略産業への支援・育成

経済局、総務局、都市局、建設局

実現すべき将来像

- 戦略産業の振興により、第2次産業振興プランで掲げた目標(市内総生産の4.1%増加、市内就業者数の維持)の達成
- 戦略産業振興プラットフォームや人材の育成・確保への支援により、地域を支える企業の課題が解決し、経営が好転
- 大谷・小鹿地区を始めとした企業立地用地の確保

平成29年度の主な事業の評価と検証

- 戦略産業の一つである海洋・エネルギー産業では、海洋産業クラスター創造事業において、研究開発プロジェクト9件を立ち上げた。(計画7件)
- 地域を支える企業への支援としては、戦略産業振興プラットフォームにおいて、新商品開発等5件の支援を実施。また、人材確保への支援として市内企業と技術を持った人材との交流会を実施し、34件のマッチングを成立。
- 企業立地では、大谷・小鹿地区「恩田原・片山土地区画整理事業」の推進の他、市内の開発候補地に関する地権者意向調査を実施。また、地域未来投資促進法に基づく重点促進区域を指定。

平成30年度の主な事業

戦略産業への集中的な支援・育成



海洋・エネルギー産業
(海洋産業クラスター創造事業)
(経済局)【61,500千円】



清水港・ロジスティクス産業
(コンテナ航路誘致事業等)
(経済局)【52,480千円】



食品・ヘルスケア産業
(中小企業海外展開支援ほか)
(経済局)【5,090千円】

地域を支える企業への支援



新現役交流会(人材マッチング推進事業)
(経済局)【689千円】

企業立地の推進



企業立地用地開発推進事業
(経済局)【17,000千円】

平成31年度の取組

- 戦略産業の振興として「海洋・エネルギー産業」では、海洋産業クラスター創造事業による、研究開発プロジェクトの商品化や事業化等支援を実施。
- 「食品・ヘルスケア産業」では、中小企業海外展開支援事業により、引き続き海外展開に係る商談会やセミナーの開催、FOOD TAIPEIに対する出展支援を実施。
- 地域未来投資促進法に基づき承認した「地域経済牽引事業」に対し、首都圏でのプロモーション等の集中的な支援を実施。
- 地域を支える企業への支援として、戦略産業振興プラットフォームにより産業支援機関が連携した支援を実施。また、人材の確保等への支援として、市内中小企業と豊富な実務経験を有する企業OB人材とのマッチングを支援。
- 企業立地の推進では、大谷・小鹿地区の産業集積方針に沿った企業立地を推進する他、市内企業立地用地の確保に取り組む。

戦略産業への集中的な支援・育成



海洋・エネルギー産業
(海洋産業クラスター創造事業)
(経済局)【18,300千円】



食品・ヘルスケア産業
(中小企業海外展開支援事業等)
(経済局)【5,090千円】



地域未来投資促進法
「地域基本計画」推進事業
(経済局)【3,244千円】

地域を支える企業への支援



働き方改革の実現に向けた企業支援事業
(経済局)【21,410千円】

企業立地の推進



企業立地用地開発推進事業
(経済局)【9,606千円】

3次総 重点プロジェクトの主な事業 一覧表

3 中枢都市	世界中から多くの人が集まる求心力の高いまちづくりの推進
3-①	首都圏等からの移住・定住の促進

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	平成31年度 当初予算額 (千円)	5大構想	資料③ ページ	資料② ページ
首都圏等での情報発信									
1	企画局	企画課	継続	移住支援センター運営事業	ソフト	18,372			49
2	企画局	企画課	継続	首都圏における移住相談会・セミナー運営事業	ソフト	2,071			49
3	企画局	企画課	継続	テレワーカー移住促進事業	ソフト	952		91	49
4	総務局 経済局	東京事務所 産業振興課	拡充	★首都圏プロモーション推進事業 ★「地域経済牽引事業」の首都圏プロモーション 支援事業	ソフト	6,303		117	45 92
移住促進に向けた支援策の推進									
5	企画局	企画課	継続	新幹線通学費貸与事業	ソフト	67,450			49
6	企画局	企画課	継続	移住体験ツアー運営事業	ソフト	3,784		92	49
7	教育局	児童生徒支援課	拡充	★高校生、短大生、大学生等に対する奨学金貸 付事業	ソフト	65,076		93	123
8	経済局	中山間地振興課	継続	★地域おこし協力隊配置事業	ソフト	34,222		81	103
9	経済局	中山間地振興課	継続	★中山間地移住促進事業	ソフト	13,000		94	102
10	経済局	中山間地振興課	継続	★オクシズ農林漁家民宿開業費助成	ソフト	1,200			102
その他									
11	経済局	商業労政課	継続	★プレミアムフライデー推進事業	ソフト	19,400	⑤まちは劇場	95	95
12	企画局ほか	企画課ほか	拡充	交流人口の増加策(しずおか中部連携中枢都市 圏事業)	ソフト	612,020		96,97	49
13	総務局	総務課 人事課 ICT推進課	拡充	働き方改革推進事業	ハード ソフト	38,958		98	46
14	都市局	住宅政策課	継続	空き家情報バンク登録・活用事業	ソフト	5,800		99	111
15	総務局	ICT推進課	新規	RPA実装推進事業	ソフト	5,898			46
16	経済局	産業政策課	新規	移住就職支援交付金	ソフト	17,600			92
17	経済局	商業労政課	継続	地元就職・UIJターン就職の促進	ソフト	14,184		100	95
18	保健福祉長寿局	清水病院 病院総務課	継続	★清水病院医学生就学資金貸与事業	ソフト	82,875			150
計						1,009,165			

★印は他の重点プロジェクトにも位置付けています

平成30年度当初予算額 834,479

3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

テレワーカー移住促進事業

企画局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	952				952
前年度予算額	1,251				1,251

目的	首都圏企業を対象に、民間のテレワーク環境が整備された施設において、本市での勤務を直接体験していただく「お試しテレワーク」を実施し、個人（従業者）及び企業のニーズ把握と課題整理を行うとともに、本市への従業者の移住を促進する。
----	---

事業概要	<p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人（従業者）向けお試しテレワーク 388千円 施設利用料・旅費をサポート ・対象：首都圏企業のテレワーカー社員（個人） ・企業参加型お試しテレワーク 564千円 施設利用料・旅費・滞在費をサポート ・対象：首都圏企業の部門単位など テレワーカー社員、等
------	--



静岡駅周辺でのお試しテレワーク



郊外(用宗)でのテレワーク

3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

移住体験ツアー運営事業 企画局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,784				3,784
前年度予算額	5,318				5,318

目的	本市への具体的移住検討者を対象に、将来の移住先の生活環境を実際に体験していただくことで、本市への移住を後押しする。
----	---



事業概要	<p>1 移住体験ツアー 3,736千円</p> <p>○概要 本市の「子育て環境」及び本市での「お仕事」をテーマとした移住体験ツアーを実施する。</p> <p>○時期 平成31年11月～2020年2月頃</p> <p>○回数 2回</p> <p>○参加者 各回10組20名程度</p> <p>2 まち歩きツアー（まち歩き案内in静岡） 48千円</p> <p>○概要 主に、初めて本市を訪れる方を対象に、静岡駅周辺のコンパクトな街並みをアピールするため、街中を歩く日帰りツアーを定期的に開催する。</p>
------	---



H30年度 子育て世帯向けツアー



移住体験ツアーの様子

3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

【拡充】

高校生、短大生、大学生等に対する奨学金貸付事業

教育局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	65,076			35,274	29,802
前年度予算額	51,420			35,633	15,787

目的	<p>高校、短大（専修学校を含む）、大学及び大学院等に入学又は在学する学生等に学資を貸与して、市の発展に資する優秀な人材を育成する。また、卒業後に静岡市で定住を考えている学生に対する返還免除制度により、移住・定住を促進する。</p>
----	--

事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 対象 保護者が市内に住所を有し、市内外問わず高校、短大、大学及び大学院等に入学または在学する学生等 2 貸与額 ○高校生 月額8千円 ○短大生 月額1万5千円 ○大学生等 月額2万円 3 返還免除制度 大学等卒業後に静岡市に居住するなど一定の条件を満たした場合、返還額の最大1/2を免除 4 併給可能制度 静岡市の篤志奨学金（給付型奨学金）をはじめとする他の奨学金との併給が可能 5 予約採用制度 安心して、高校や大学等への進学を準備できるよう進学前に採用を内定
------	---

無利子、最高2分の1の返還免除

静岡市育英奨学金は、卒業後「静岡市」で定住を考えている皆さんを応援します。

他の奨学金との併給が可能です。

安心して、進学の準備をしていただくために、予約採用制度を用意しました。

篤志奨学金【給付型】もあります。



3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

中山間地移住促進事業

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	13,000				13,000
前年度予算額	13,000				13,000

目的	過疎化の深刻な中山間地域の集落、コミュニティの維持及び活性化を図るためオクシズへの移住を促進する。
----	---



事業概要	<p>1 住宅改修事業補助金 9,000千円 ○空き家情報バンクを通じて、賃借又は売買された住宅改修に係る補助金 ・対象者：所有者または賃借人 ・補助率：9／10（旧安倍6村＋両河内） 1／2（その他オクシズ地域） ・上限額：100万円</p> <p>2 移住報奨金 3,000千円 ○空き家情報バンクを通じて、安倍6カ村・両河内地区に移住し、6か月以上の居住実績のある者のうち、SNSなどを活用して、田舎暮らしや地域を情報発信する者に対する報奨金 ・対象者：上記1の対象者 ・補助率等：1人当たり20万円（1世帯当たり最大100万円）</p> <p>3 移住促進事業補助金 1,000千円 ○移住促進事業を実施する安倍6カ村・両河内地区内の地域団体に対する補助金 ・補助対象：事業実施に要する経費 ・補助率：8／10 ・上限額：50万円</p>
------	--



移住用住宅のイメージ

3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

プレミアムフライデー推進事業 経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	19,400	7,500			11,900
前年度予算額	22,400	11,000			11,400

目的	「静岡市から働き方を変えよう！」をスローガンに、仕事のやり方を見直す”柔軟な時間づくり”、そこで生まれたプライベートの時間を豊かに過ごす”心豊かな時間づくり”の両面を改革し、ワークライフバランスのとれた未来のライフスタイルをつくる。
----	--

事業概要	1 企業・経営者に向けた取組 7,400千円 ○ 企業の取組の拡大・質の向上 ・ 働き方改革実現に向けたロールモデル構築（再掲） ○ 働き方改革取組企業のPR ・ PF取組企業発信事業 ・ 新聞媒体等を活用した普及啓発 など
	2 市民・来街者に向けた取組 8,045千円 ○ 市民の参加促進と市外からの誘客 ・ 市民参加型のシンボルイベント実施（毎月） ・ 市外からの来街促進事業 ・ 市民意識調査の実施
	3 お店・施設等に向けた取組 3,955千円 ○ お店等の取組の定着・拡大と将来的な自走化の促進 ・ 個店・施設の情報集約発信 ・ PFイベント実施団体等支援事業



市立美術館の「ミュシャ展」と連携したトークイベントの開催

官民連携した先進的な取組が評価され
世耕経済産業大臣より感謝状授与



プレ金大学 in 常葉大学
(全国展開のキックオフ校のひとつに)



オリンピック中村友梨香氏による
プレミアムフライデーランニング教室



プロレス団体(FREEDOMS)と連携した
プレ金プロレスで働き方改革のメッセージ発信

3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

【拡充】

交流人口の増加策（しずおか中部連携中枢都市圏事業）

企画局ほか

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	612,020	50,000			562,020
前年度予算額	508,159	50,000			458,159

目的	しずおか中部連携中枢都市圏の目指す将来像である『海・山・街道を活かした多極連携・交流都市圏』の実現に向けて、『圏域内のさらなる交流の促進』をテーマに、各市町が実施する個々のイベントや観光資源を磨きあげ、活発な交流の促進を図っていく。
----	--



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 アンテナショップ開設事業 259,500千円 ○圏域のPRや地場産品等の販路拡大を図るため、首都圏にアンテナショップを開設する。 2 海外展開・対日投資促進事業 14,349千円 ○海外に販路を有する国内商社との個別商談会を開催する。 ○圏域内の企業に対し中国企業の情報発信を行い、マッチングを促進する。 3 水産物を活用した産業活性化事業 2,720千円 ○圏域沿岸部で水揚げされる水産物を活用した新商品の開発や、圏域外へのプロモーションを実施する。 4 地域連携DMO推進事業 130,000千円 ○商品開発や観光資源のプロモーション活動により観光目的地としての認知度を高め、観光消費による地域経済の活性化を図る。 5 大井川流域ニューツーリズム推進事業 29,000千円 ○大井川流域を走るSLやアプト式列車と連携したイベントや、沿線地域の観光資源のPR等を実施し、観光客の拡大を図る。 拡充 6 街道文化発信事業 13,100千円 ○旧東海道宿場町における連携イベントや、中部5市2町プロモーション等を実施する。
------	--



水産物を活用した
産業活性化事業



地域連携DMO
推進事業



大井川流域ニューツーリズム
推進事業

3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

【拡充】

交流人口の増加策（しずおか中部連携中枢都市圏事業）

企画局ほか

（千円）

事業概要	7 静岡中部地域サイクルツーリズム推進事業	5,000千円
	○中部地域のサイクルツーリズムを推進するため、モデルコースの設定、サイクルマップの作成等を実施する。 拡充	
	8 サイエンスキッズ育成事業	3,000千円
	○圏域の子ども達に対し、科学に触れる機会を提供することで、次世代の科学振興の担い手となる人材を育成する。	
	9 大学連携事業	28,950千円
	○圏域の大学と連携した地域課題の解決事業の推進や、学生の活動拠点を確保し、若者の圏域外流出の抑制と地元定着を促進する。	
	10 JR駅前等賑わい創出事業	66,400千円
	○圏域内のJR沿線主要駅付近にて、イルミネーション点灯事業を実施し、相互にPRをすることで圏域の交流人口の拡大を図る。	
	11 中部5市2町広域連携PR等事業	6,454千円
	○「しずおか中部連携中枢都市圏」事業の認知度を向上させるための周知・啓発等を実施する。 拡充	
	12 都市間交通の利便性向上事業	8,000千円
	○路線バス（しずてつジャストライン特急静岡相良線）の利用環境を整備し、通勤、通学及び観光における利便性の向上を図る。	
	13 移住促進事業	2,547千円
	○圏域の市町が合同で全国規模の移住フェアに出展し、圏域への移住促進を図り、交流人口の拡大及び定住人口の維持を目指す。	
	14 テレワーク推進事業	4,000千円
○e-ラーニングシステムにより圏域の住民にテレワークの広報啓発を行い、多様な働き方を推進することで地域経済の活性化を図る。		
15 中部5市2町イベントニュース発行事業	39,000千円	
○圏域市町で開催されるイベント情報に加え、文化施設や観光情報を掲載することで、より多くの情報を発信し、圏域の交流人口の拡大を図る。（ページ数：8P⇒12P） 拡充		



サイエンスキッズ育成事業



JR駅前等賑わい創出事業



中部5市2町イベント
ニュース発行事業



3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

【拡充】

働き方改革推進事業

総務局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	38,958				38,958
前年度予算額	1,641				1,641

目的	平成30年4月に策定した「静岡市職員テレワーク・ロードマップ」に基づき、職員の多様で柔軟な働き方の実現や優秀な人材の確保、長時間労働を前提としない生産性を重視した働き方を推進するため、本事業を実施する。
----	---



事業概要	1	モバイルワーク勤務導入事業 新規	1,800千円
		・内容 庁舎外で、インターネット環境にアクセスできる端末の導入 モバイルワーク用端末 10台	
		・効果 外出先・現場でのデータ確認、インターネットを利用した所属との情報共有等の処理を可能とすることで、時間の効率化、隙間時間の活用を実現	
	2	テレビ会議システム導入事業 拡充	3,158千円
		・内容 テレビ会議システム（専用端末 3台）の導入（静岡庁舎・清水庁舎・駿河区役所に各1台）	
		・効果 離れた場所にいる職員同士が、「会わなくても打合せができる」環境を作ることで、移動時間・旅費を削減	
	3	フリーアドレス導入事業 新規	34,000千円
		・内容 窓口部門や土木部門等でフリーアドレスを実施	
		・効果 業務プロセスの見直し・職員の意識及び行動の変革を実現	

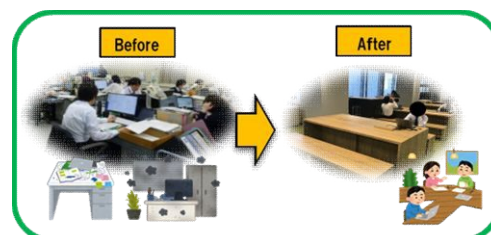
モバイルワーク勤務導入事業



テレビ会議システム導入事業



フリーアドレス導入事業



3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

空き家情報バンク登録・活用事業 都市局

(千円)

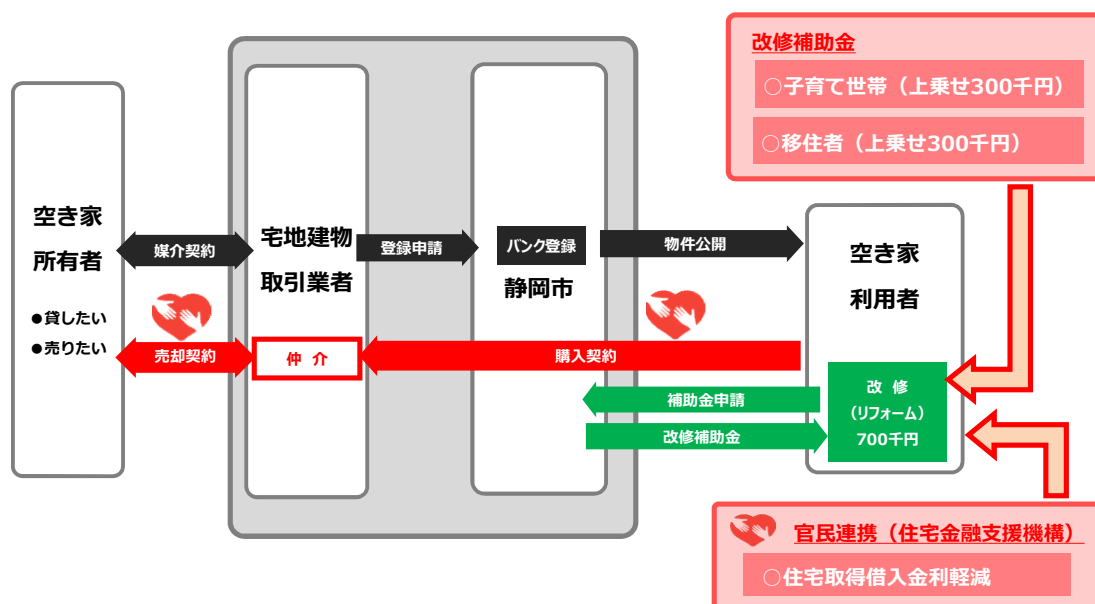
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (4.5/10)	市債	その他	
当初予算額	5,800	2,610			3,190
前年度予算額	7,000	3,150			3,850

目的	市街化区域内に所在する空き家を有効活用することにより、当該区域における定住の促進と地域の活性化を図るとともに、子育て世帯にあっては子育てに係る居住環境の向上を図り、移住者にあっては転入による人口の増加を図る。
----	--



事業概要	<p>1 空き家情報バンク利活用に係るリフォーム補助金 5,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空き家改修補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・補助率 改修費の1/3 ・補助上限額 700千円 ○子育て世帯向け、移住者向け 空き家改修補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校6年生までの子どもを扶養している世帯又は県外からの移住者に対して、改修補助金の上乗せ300千円（空き家改修補助金として最大1,000千円）を実施。 <p>2 独立行政法人住宅金融支援機構との協定締結</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空き家改修補助金の交付を前提とした住宅取得にかかる借入金利を軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・「フラット35」を利用した場合、借入金利を当初5年間0.25%引下げ
------	--

空き家情報バンクにより、空き家所有者と利用者のマッチングを手助け



3 中枢都市 ①首都圏等からの移住・定住の促進

地元就職・UIターン就職の促進

経済局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	14,184				14,184
前年度予算額	32,405	15,625			16,780

目的	<p>地元就職並びに、UIターンを志す若者をはじめ、市内企業の情報が行き届いていない若者に対する課題解決を図るため、若者就活応援サイト「しずまっち」等の様々なツールを活用し、若者が市内企業への就職を将来の選択肢として捉えることができるよう取り組むものである。</p>
----	---



事業概要	<p>若者向け企業研究機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若者と企業の交流機会の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・就活よろずサポーター事業（企業情報収集・個別相談等） ・静岡型リクルートカフェの開催 ・若者就活応援サイト「しずまっち」の保守管理 ・高校同窓会を通じた就職支援情報誌制作支援 ○早期からのキャリア形成支援 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生キャリア形成事業
------	--



↑ 2019就職支援情報誌

高校生キャリア形成事業の様子



↑ UIターン交流イベントの様子



